

夕張市公共交通等に関するアンケート調査結果

2023年(令和5年)3月

夕張市

1 市民等ニーズ把握調査

1-1 市民アンケート調査の実施

1-1-1 調査の概要

「夕張市公共交通等に関するアンケート調査（以下、「市民アンケート」）」を実施し、「現状の市民の移動実態」「公共交通の利用状況」「公共交通サービスに対する評価や取り組むべき対策」等について調査した。

また、デマンド交通対象地域とタクシー補助対象地域については別葉のアンケート票を「市民アンケート」と併せて配布した。

表 1-1 市民アンケートの実施概要

対 象	夕張市内全世帯（2022年9月末現在の世帯数4,111世帯）
配 布	調査票2セットと依頼文、返信用封筒を一組にして、夕張市広報誌へ挟み各戸へ配布した。（10月上旬） また夕張高等学校の協力のもと生徒へ調査票を配布した。
回 収	郵送回収を基本とする。高校生徒は学校で回収。 総有効回収数 1,956票。

1-1-2 調査の項目

表 1-2 市民アンケートの調査項目

分類	調査項目
回答者属性	年齢・性別、職業、居住地、免許の有無など
外出移動実態	移動目的別の行き先、交通手段、頻度など
市外への移動実態	広域路線バスの認知度・利用経験、廃線になった場合など
公共交通利用実態	利用頻度、現行公共交通の評価・問題点など
施策の方向性	市内線と市外線の市民負担への考え方

夕張市公共交通等に関するアンケート調査票

◆ご回答は、内のあてはまる番号を○で囲むか、内に語句、数字等を記入して下さい。

問1 あなた(回答者)のことについて お聞きします

問1-1 あなたの性別および年齢は？

1. 男 2. 女

1. 10代 2. 20代 3. 30代
4. 40代 5. 50代 6. 60～64歳
7. 65～74歳 8. 75歳以上

問1-2 あなたのお住まいは？

1. 本庁地区 2. 富野地区 3. 若菜地区
4. 清水沢地区 5. 南部地区 6. 沼ノ沢地区
7. 真谷地地区 8. 紅葉山地区 9. 楓・登川地区
10. 滝ノ上地区

問1-3 同居しているご家族の人数は？

ご自身を含めて () 人家族

問1-4 あなたは、自動車運転免許をお持ちですか。

1. 持っている 2. 持っていない

問1-5 あなたは、ふだん自動車を運転しますか。

1. 運転する 2. 運転しない

問1-6 ご自宅に自家用車はありますか？

1. ある 2. ない

問1-7 ご自宅から最寄りのバス停またはJR駅まで、徒歩で何分かかりますか。(それぞれ回答)

【バス停】

1. バス停まで徒歩 () 分
2. 近くにバス停が無い(徒歩20分以上)

【JR駅】

1. 駅まで徒歩 () 分
2. 近くに駅が無い(徒歩20分以上)

問1-8 日頃、バスまたはJRをどの程度の頻度で利用していますか。(それぞれ回答)

【路線バス】

1. 週5回以上
2. 2日に1回程度
3. 週1回程度
4. 月2～3回以下
5. ほとんど利用しない

【JR】

1. 週5回以上
2. 2日に1回程度
3. 週1回程度
4. 月2～3回以下
5. ほとんど利用しない

問1-9 主に市内線で公共交通を利用したい時間帯を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

【自宅を出発する時間帯】

1. 午前6時～8時
2. 午前8時～10時
3. 午前10時～正午
4. 正午～午後2時
5. 午後2時～4時
6. 午後4時～6時
7. 午後6時～8時
8. 午後8時以降
9. 利用しない

【自宅へ帰宅する時間帯】

1. 午前6時～8時
2. 午前8時～10時
3. 午前10時～正午
4. 正午～午後2時
5. 午後2時～4時
6. 午後4時～6時
7. 午後6時～8時
8. 午後8時以降
9. 利用しない

▶▶ 見開きページへ

問2 あなたの普段の外出について お聞きします

問2-1 市内と市外を含め、以下のそれぞれの目的（用事）で

- ◆どれくらいの頻度で出かけるのか、
- ◆主にどこへ行くのか、
- ◆そこに出かける際、利用する交通手段は何か、をご記入下さい。

通勤や 通学で	出かける頻度は？ 1. 週5回以上 2. 2日に1回程度 3. 週1回程度 4. 月2～3回以下 5. 出かけない	行き先は？ 施設名、 市町村名などを記入 ()	交通手段は？ (あてはまるもの全てに○) A. 徒歩 B. 自転車・バイク C. 自家用車 D. 路線バス E. ハイヤー・タクシー F. JR G. デマンド南部線・真谷地線 H. 職場などの送迎車 I. その他 ()
↓	↓	↓	↓
通院や 介護で	出かける頻度は？ 1. 週5回以上 2. 2日に1回程度 3. 週1回程度 4. 月2～3回以下 5. 出かけない	行き先は？ 病院名や施設名、 市町村名などを記入 ()	交通手段は？ (あてはまるもの全てに○) A. 徒歩 B. 自転車・バイク C. 自家用車 D. 路線バス E. ハイヤー・タクシー F. JR G. デマンド南部線・真谷地線 H. 病院や施設などの送迎車 I. その他 ()
↓	↓	↓	↓
買い物や 飲食で	出かける頻度は？ 1. 週5回以上 2. 2日に1回程度 3. 週1回程度 4. 月2～3回以下 5. 出かけない	行き先は？ 店名や施設名、 市町村名などを記入 ()	交通手段は？ (あてはまるもの全てに○) A. 徒歩 B. 自転車・バイク C. 自家用車 D. 路線バス E. ハイヤー・タクシー F. JR G. デマンド南部線・真谷地線 H. 店舗などの送迎車 I. その他 ()
↓	↓	↓	↓
娯楽や 交友で	出かける頻度は？ 1. 週5回以上 2. 2日に1回程度 3. 週1回程度 4. 月2～3回以下 5. 出かけない	行き先は？ 施設名、 市町村名などを記入 ()	交通手段は？ (あてはまるもの全てに○) A. 徒歩 B. 自転車・バイク C. 自家用車 D. 路線バス E. ハイヤー・タクシー F. JR G. デマンド南部線・真谷地線 H. 施設などの送迎車 I. その他 ()
↓	↓	↓	↓
その他 で	出かける頻度は？ 1. 週5回以上 2. 2日に1回程度 3. 週1回程度 4. 月2～3回以下 5. 出かけない	行き先は？ 施設名、 市町村名などを記入 ()	交通手段は？ (あてはまるもの全てに○) A. 徒歩 B. 自転車・バイク C. 自家用車 D. 路線バス E. ハイヤー・タクシー F. JR G. デマンド南部線・真谷地線 H. 施設などの送迎車 I. その他 ()

問3 外出のうち「市外への移動」についてお聞きます

問3-1 札幌（栗山・由仁・長沼・南幌・江別）方面へのどのくらいの頻度で出かけますか。
また、その目的（用事）は何ですか。

【頻度】（ひとつに○）

1. 週5回以上
2. 2日に1回程度
3. 週1回程度
4. 月2～3回以下
5. 出かけない

【目的】（あてはまるもの全てに○）

1. 通勤や通学
2. 通院や介護
3. 買い物や飲食
4. 娯楽や交友
5. その他（ ）

問3-2 夕張市と札幌市などを結ぶバスが現在4路線運行していますが、利用したことがありますか。

事業者	路線〔平日便数〕	回答欄（それぞれひとつに○）
夕鉄バス	夕張～新さっぽろ線〔3往復〕 (夕張～栗山～南幌～江別～新札幌)	1. ふだん利用している 2. 過去に利用したことがある 3. 知っているが利用したことはない 4. 知らなかった
	急行新さっぽろ駅前〔往4・復5〕 (夕張～由仁～長沼～大谷地～新札幌)	1. ふだん利用している 2. 過去に利用したことがある 3. 知っているが利用したことはない 4. 知らなかった
北海道中央バス	高速ゆうばり号〔3往復〕 (夕張レースイ～栗山～南幌 ～高速野幌～札幌駅前)	1. ふだん利用している 2. 過去に利用したことがある 3. 知っているが利用したことはない 4. 知らなかった
	岩見沢夕張線〔1往復〕 (夕張レースイ～栗山～岩見沢)	1. ふだん利用している 2. 過去に利用したことがある 3. 知っているが利用したことはない 4. 知らなかった

問3-3 夕鉄バスと北海道中央バスの市外線が廃線となった場合、市外の目的地に行くために、夕張市から公共交通でどこまで行くことができれば良いですか。（ひとつに○）

1. 新夕張駅
2. 栗山町
3. 由仁町
4. 長沼町
5. 南幌町
6. 江別市
7. 札幌市
8. その他（ ）



問4 交通サービスの評価について お聞きします

問4-1 現在の夕張市の公共交通サービスについて、どのような印象をお持ちですか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------------|
| 1. 満足している | 2. おおむね満足 | 3. どちらでもない |
| 4. やや不満 | 5. 不満 | 6. 利用しないのでわからない |

問4-2 現在の夕張市の市内線の公共交通サービスには、どのような問題点があると思いますか。
(あてはまるもの全てに○)

また、選択肢に無い問題点は、「その他の問題点」にご記入下さい。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ア. バス路線が行きたいところを通らない。 | オ. バス同士の乗り換えが不便だ。 |
| イ. バス停が近くにない。 | カ. JR(新夕張～滝ノ上)の本数が少ない。 |
| ウ. バスの本数が少ない。 | キ. JRとバスの乗り継ぎが不便だ。 |
| エ. バス運賃が高い。 | |

その他の
問題点

問4-3 現在の夕張市の市外線の公共交通サービスには、どのような問題点があると思いますか。
(あてはまるもの全てに○)

また、選択肢に無い問題点は、「その他の問題点」にご記入下さい。

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| ア. バス路線が行きたいところを通らない。 | オ. バス同士の乗り換えが不便だ。 |
| イ. バス停が近くにない。 | カ. JRへの乗り換えが不便だ。 |
| ウ. バスの本数が少ない。 | キ. JR新夕張駅に発着する石勝線の本数が少ない。 |
| エ. バス運賃が高い。 | |

その他の
問題点

問5 夕張市の公共交通の今後のあり方について ご意見をお聞きします。

マイカーの普及や少子化などで、公共交通の利用者数は、どんどん減っています。公共交通が無くなれば、「生活の足」が無くなってしまうため、赤字路線の維持のために、市が一部費用を負担しています。

問5-1 これからの夕張市の市内線の方向性として、考えに最も近いものを1つ選んで下さい。

- | |
|---|
| 1. もっと市が費用を負担して、より便利な公共交通にする。 |
| 2. 市の費用負担を変えない範囲で現状の公共交通を維持する。 |
| 3. 市の負担を少なくするため、バス路線を効率化する。(利用者の少ない便を廃止する。) |
| 4. 路線バスよりも運行経費が少ない交通システムに見直す。 |
| 5. その他 () |

問5-2 これからの夕張市の市外線の方向性として、考えに最も近いものを1つ選んで下さい。

- | |
|--|
| 1. もっと市が費用を負担して、市外線の夕鉄バスを残す。 |
| 2. もっと市が費用を負担して、市外線の北海道中央バスを残す。 |
| 3. もっと市が費用を負担して、市外線の夕鉄バスと北海道中央バスの両方を残す。 |
| 4. 路線バスよりも運行経費が少ないデマンドバスなどの導入で、市外線を運行する。 |
| 5. 新夕張駅からJRで市外に行けるので、バスは必要ない。 |
| 6. その他 () |

以上でアンケートは終了となります。ご協力ありがとうございました。

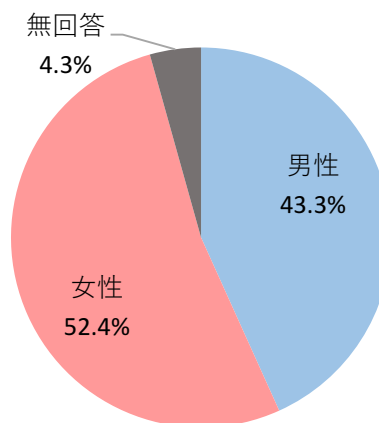
1-2 市民アンケート調査の結果

1-2-1 回答者属性

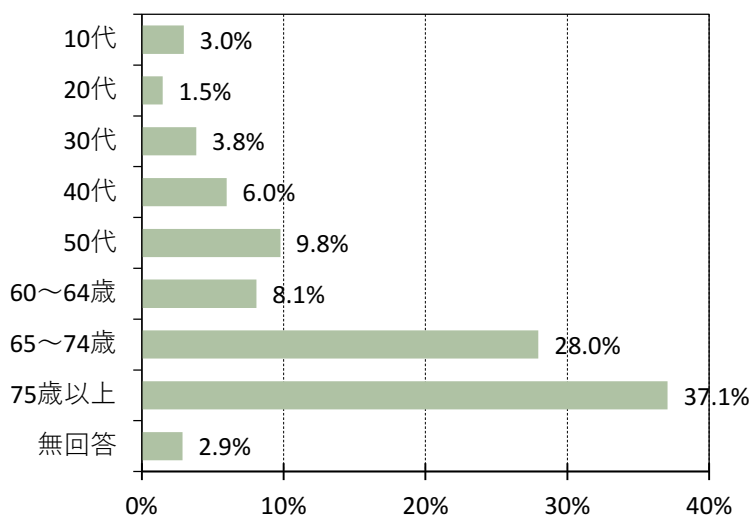
(1) 性別・年齢

回答者の男女構成では女性の割合がやや多く、年齢構成では65歳以上の割合が過半数を占める。

性別	回答数	割合
男性	846	43.3%
女性	1,025	52.4%
無回答	85	4.3%
合計	1,956	100.0%



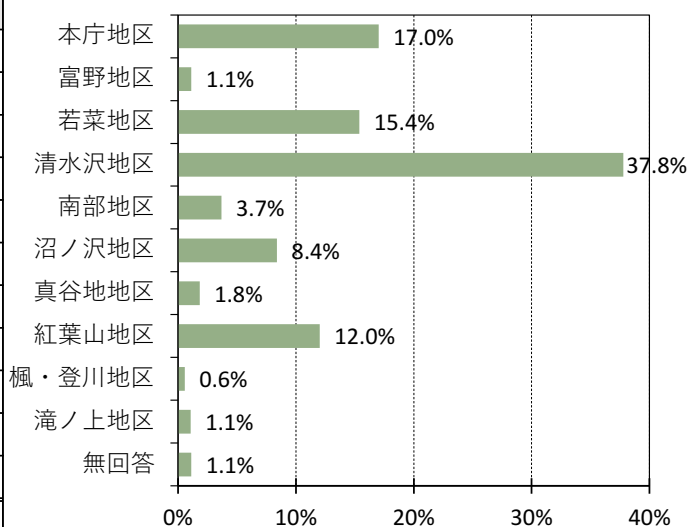
年齢	回答数	割合
10代	58	3.0%
20代	29	1.5%
30代	75	3.8%
40代	117	6.0%
50代	191	9.8%
60～64歳	158	8.1%
65～74歳	547	28.0%
75歳以上	725	37.1%
無回答	56	2.9%
合計	1,956	100.0%



(2) 住所

回答者の住所構成では、清水沢地区が38%と最も多く、次いで本庁17%、若菜15%、紅葉山12%などの地区の割合が多い。

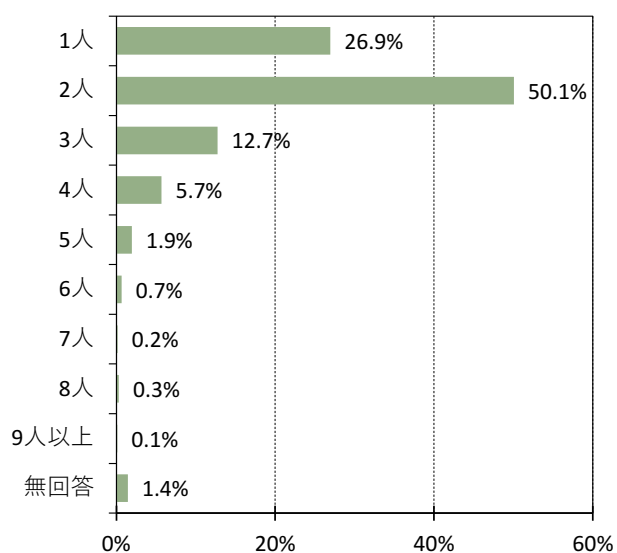
居住地区	回答数	割合
本庁地区	333	17.0%
富野地区	22	1.1%
若菜地区	301	15.4%
清水沢地区	739	37.8%
南部地区	72	3.7%
沼ノ沢地区	164	8.4%
真谷地地区	36	1.8%
紅葉山地区	235	12.0%
楓・登川地区	11	0.6%
滝ノ上地区	21	1.1%
無回答	22	1.1%
合計	1,956	100.0%



(3) 世帯人数

回答者の世帯人数構成では、「2人世帯」が50%と半数を占め、次いで「一人世帯（単身世帯）」が27%となっており、世帯人数が少ない割合が多い。

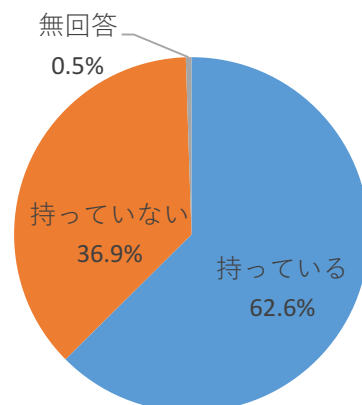
家族人数	回答数	割合
1人	527	26.9%
2人	979	50.1%
3人	249	12.7%
4人	111	5.7%
5人	38	1.9%
6人	13	0.7%
7人	3	0.2%
8人	6	0.3%
9人以上	2	0.1%
無回答	28	1.4%
合計	1,956	100.0%



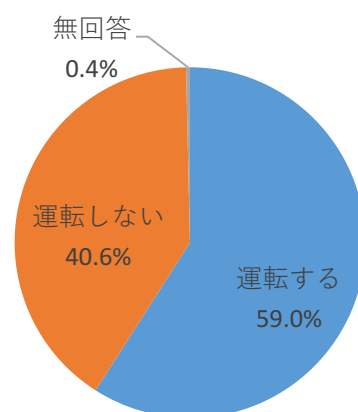
(4) 自動車運転免許保有・ふだんの自動車運転・自家用車保有

自動車運転免許を62%が保有しており、ふだん自動車を運転する方の割合は59%となっている。また、自宅に自家用車がある方の割合は74%となっている。

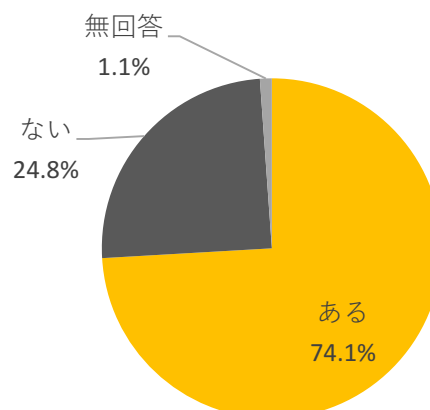
運転免許の有無	回答数	割合
持っている	1,224	62.6%
持っていない	722	36.9%
無回答	10	0.5%
合計	1,956	100.0%



運転の有無	回答数	割合
運転する	1,155	59.0%
運転しない	794	40.6%
無回答	7	0.4%
合計	1,956	100.0%



自家用車の有無	回答数	割合
ある	1,449	74.1%
ない	485	24.8%
無回答	22	1.1%
合計	1,956	100.0%



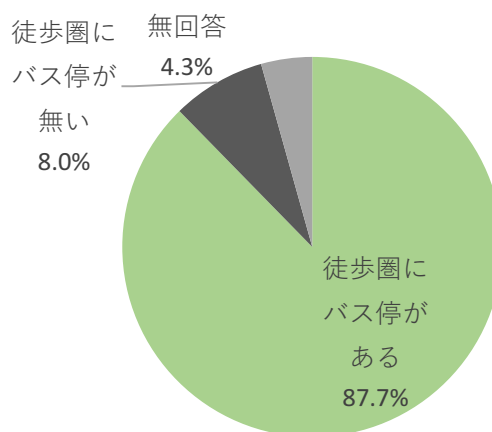
1-2-2 公共交通利用

(1) 最寄り公共交通機関アクセス

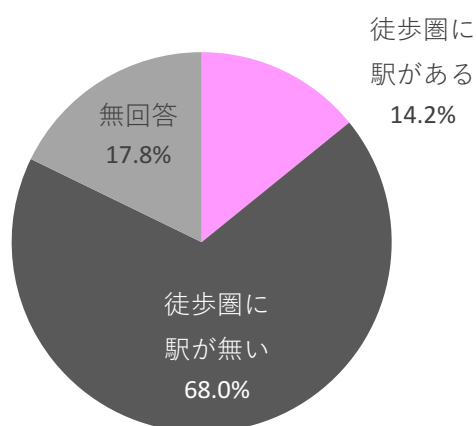
自宅から徒歩圏に「バス停がある」方は88%、無い方は8%となっている。また、バス停までの徒歩所要時間は「3分以内」が26%、「5分以内（3分以内と4～5分の合計）」は56%となっている。

一方で、徒歩圏に「JR駅がある」方は14%、無い方は68%、無回答は18%となっている。

バス停の有無	徒歩（分）	回答数	割合
徒歩圏にバス停がある	3分以内	499	25.5%
	4～5分	598	30.6%
	6～10分	477	24.4%
	11～15分	131	6.7%
	16分以上	5	0.3%
	無回答	5	0.3%
(小計)		1,715	87.7%
徒歩圏にバス停がない		156	8.0%
無回答		85	4.3%
合計		1,956	100.0%



駅の有無	徒歩（分）	回答数	割合
徒歩圏に駅がある	3分以内	16	0.8%
	4～5分	57	2.9%
	6～10分	134	6.9%
	11～15分	68	3.5%
	16分以上	1	0.1%
	無回答	1	0.1%
(小計)		277	14.2%
徒歩圏に駅がない		1,331	68.0%
無回答		348	17.8%
合計		1,956	100.0%

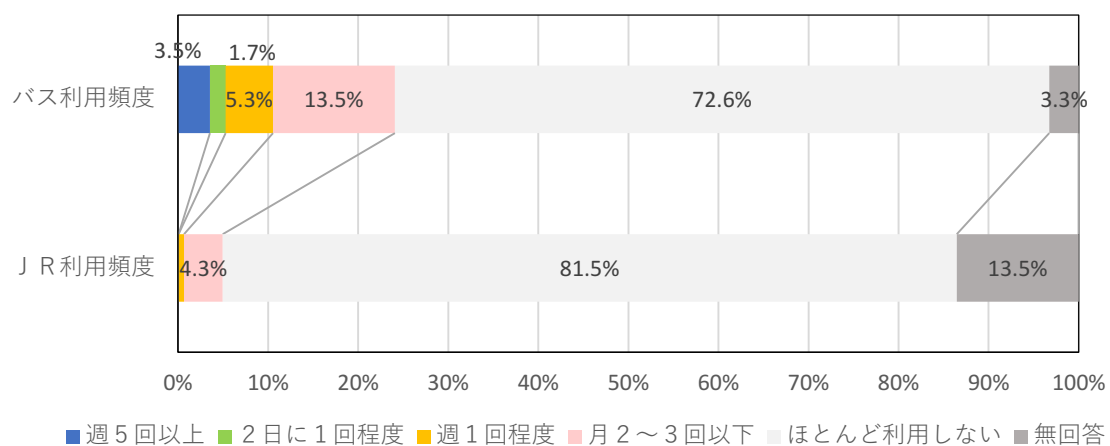


(2) 公共交通の利用頻度

J Rとバスを比較すると、日常的に利用（週1回程度以上の頻度で利用）している割合はバスのほうが大きい。

しかし、J R・バスともに「ほとんど利用しない」が7～8割を占め、日常的に利用している人の割合は少ない。

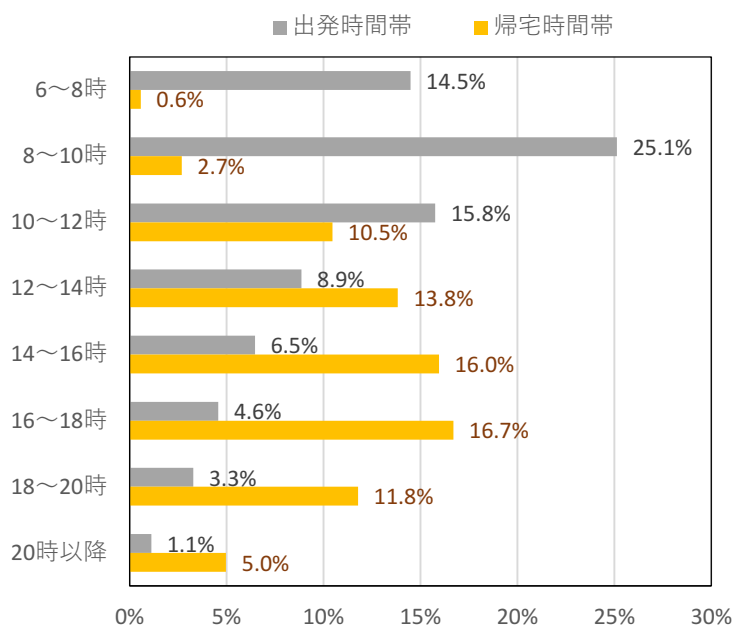
頻度	回答数		割合	
	バス利用頻度	J R利用頻度	バス利用頻度	J R利用頻度
週5回以上	69	1	3.5%	0.1%
2日に1回程度	34	0	1.7%	0.0%
週1回程度	103	12	5.3%	0.6%
月2～3回以下	265	84	13.5%	4.3%
ほとんど利用しない	1,421	1,594	72.6%	81.5%
無回答	64	265	3.3%	13.5%
合計	1,956	1,956	100.0%	100.0%



(3) 市内線を利用したい時間帯

市内線の路線バスを利用したい時間帯（複数回答可）を質問したところ、出発時間帯では「8～10時」が最も多く、帰宅時間帯は「16～18時」が最も多い。

時間帯	回答数 (MA)		選択率 (MA)	
	出発時間帯	帰宅時間帯	出発時間帯	帰宅時間帯
6～8時	260	10	14.5%	0.6%
8～10時	451	47	25.1%	2.7%
10～12時	283	183	15.8%	10.5%
12～14時	159	242	8.9%	13.8%
14～16時	116	279	6.5%	16.0%
16～18時	82	292	4.6%	16.7%
18～20時	59	206	3.3%	11.8%
20時以降	20	87	1.1%	5.0%
利用しない	951	943	53.0%	53.9%
設問の有効回答数	1,795	1,749		



注：複数回答可。「利用しない」を除きグラフ化。

注：表内の (MA) は MultiAnswer の略。複数回答可の設問においては「当該選択肢を選択した回答者数÷有効回答数＝選択率」を示す。選択率の合計値は通常 100%を上回る。

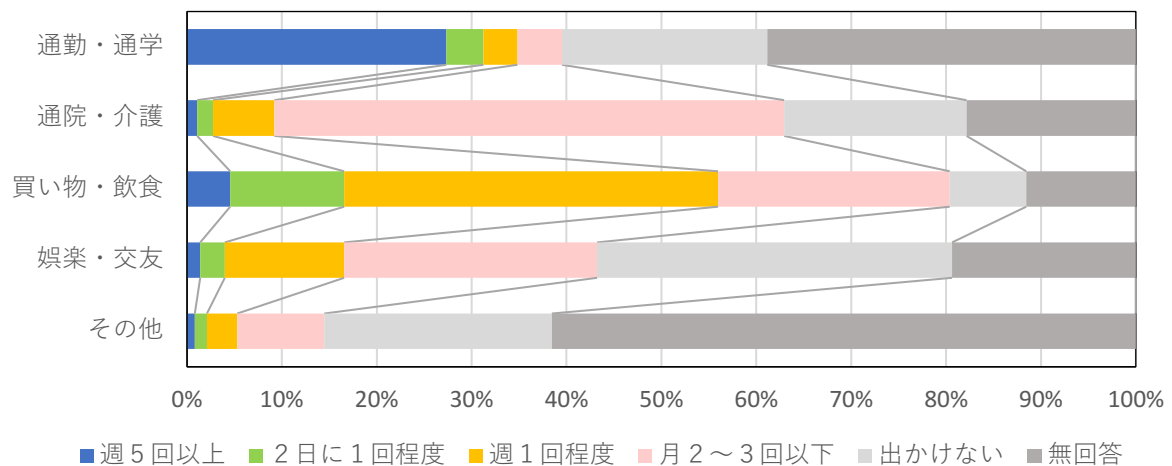
1-2-3 外出実態

(1) 目的別外出頻度

目的別に外出頻度と交通手段と行き先を設問している。

目的別の外出頻度について「(この目的では) 出かけない」や「無回答」を除いて傾向を見ると、「通勤通学」では週5日以上頻度が多く、「通院・介護」では月2～3回以下の頻度が多い。また「買い物・飲食」では週1回程度の割合が多く、「娯楽・交友」では月2～3回以下の頻度が多い。

外出頻度	回答数					外出頻度の割合				
	通勤・通学	通院・介護	買い物・飲食	娯楽・交友	その他	通勤・通学	通院・介護	買い物・飲食	娯楽・交友	その他
週5回以上	535	21	89	27	16	27.4%	1.1%	4.6%	1.4%	0.8%
2日に1回程度	76	33	235	51	25	3.9%	1.7%	12.0%	2.6%	1.3%
週1回程度	70	126	771	246	63	3.6%	6.4%	39.4%	12.6%	3.2%
月2～3回以下	92	1,051	477	521	179	4.7%	53.7%	24.4%	26.6%	9.2%
出かけない	423	376	158	732	469	21.6%	19.2%	8.1%	37.4%	24.0%
無回答	760	349	226	379	1,204	38.9%	17.8%	11.6%	19.4%	61.6%
合計	1,956	1,956	1,956	1,956	1,956	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

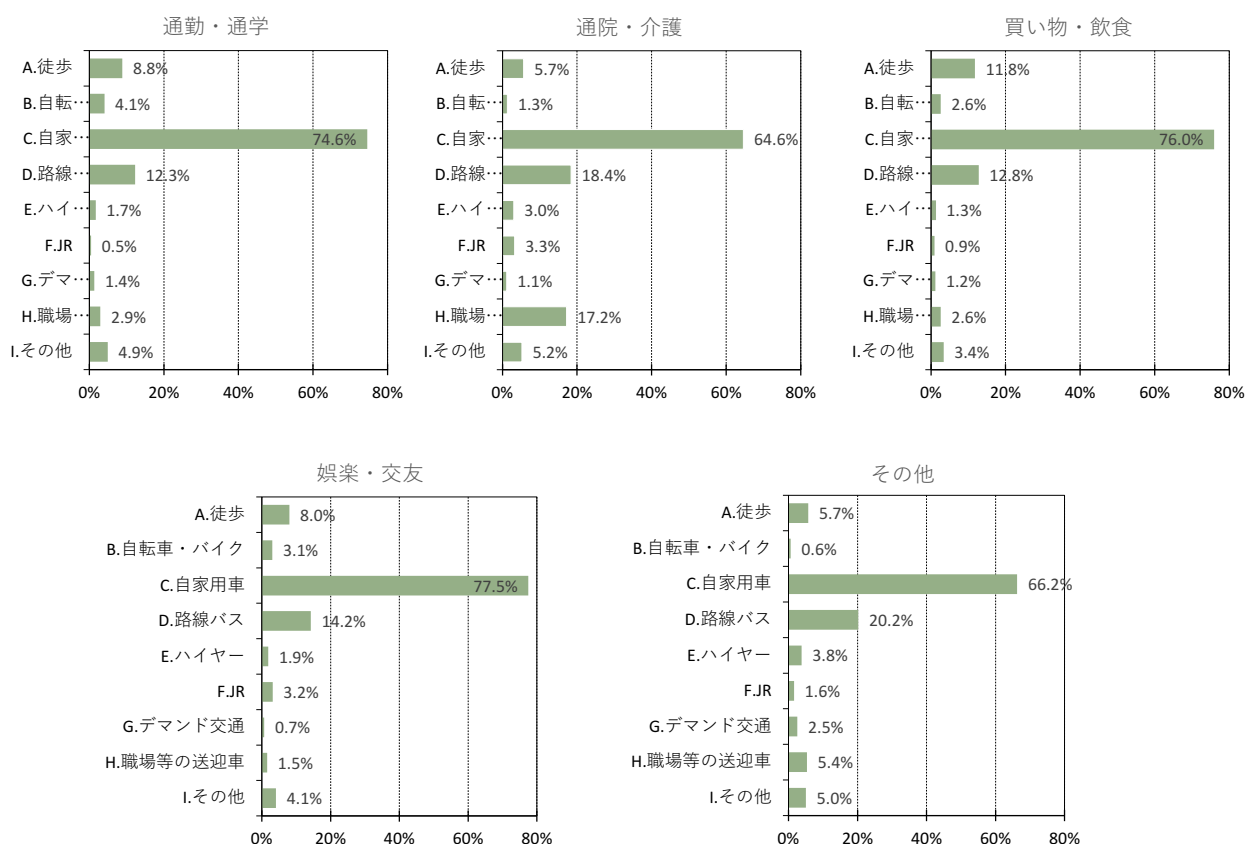


(2) 目的別交通手段構成

目的別の交通手段（複数回答可）をみると、いずれの目的においても「自家用車」の選択率が最も多い。

また、路線バスの手段選択率が比較的大きい目的は、「通院・介護」「その他」となっているが、これらの目的での利用頻度は月2～3回以下など頻度が低いため、公共交通の利用数自体は少ないと考えられる。

交通手段 (MA)	回答数 (MA)					交通手段の選択率 (MA)				
	通勤・通学	通院・介護	買い物・飲食	娯楽・交友	その他	通勤・通学	通院・介護	買い物・飲食	娯楽・交友	その他
A.徒歩	72	75	188	68	18	8.8%	5.7%	11.8%	8.0%	5.7%
B.自転車・バイク	33	17	41	26	2	4.1%	1.3%	2.6%	3.1%	0.6%
C.自家用車	607	853	1,210	659	210	74.6%	64.6%	76.0%	77.5%	66.2%
D.路線バス	100	243	204	121	64	12.3%	18.4%	12.8%	14.2%	20.2%
E.ハイヤー	14	40	21	16	12	1.7%	3.0%	1.3%	1.9%	3.8%
F.JR	4	43	15	27	5	0.5%	3.3%	0.9%	3.2%	1.6%
G.デマンド交通	11	15	19	6	8	1.4%	1.1%	1.2%	0.7%	2.5%
H.職場等の送迎車	24	227	41	13	17	2.9%	17.2%	2.6%	1.5%	5.4%
I.その他	40	69	54	35	16	4.9%	5.2%	3.4%	4.1%	5.0%
当該設問の有効回答数	814	1,320	1,593	850	317					

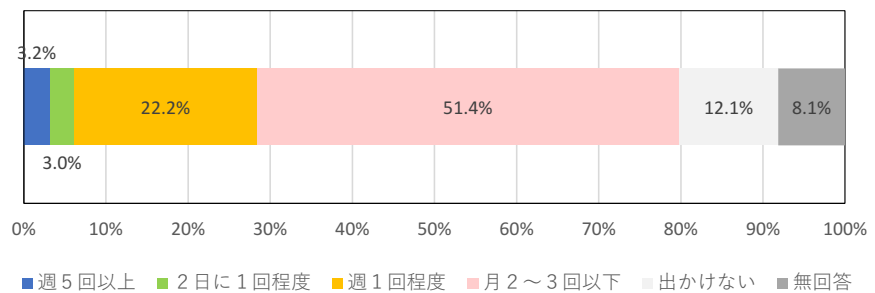


1-2-4 市外への移動と広域バス路線

(1) 札幌（栗山・由仁・長沼・南幌・江別）方面への外出頻度

札幌（栗山・由仁・長沼・南幌・江別）方面への外出頻度は「月2～3回以下」との回答が過半数を占める。次いで「週一回程度」が多く、22%となっている。

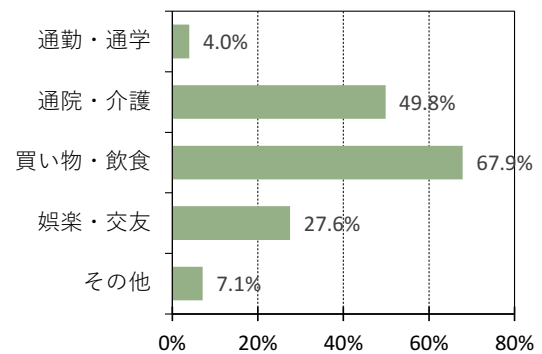
市外移動の頻度	回答数	割合
週5回以上	62	3.2%
2日に1回程度	58	3.0%
週1回程度	435	22.2%
月2～3回以下	1,005	51.4%
出かけない	237	12.1%
無回答	159	8.1%
合計	1,956	100.0%



(2) 札幌方面への外出目的

札幌方面への外出目的（複数回答可）は、「買い物・飲食」が最も多く、次いで「通院・介護」「娯楽・交友」が多い。

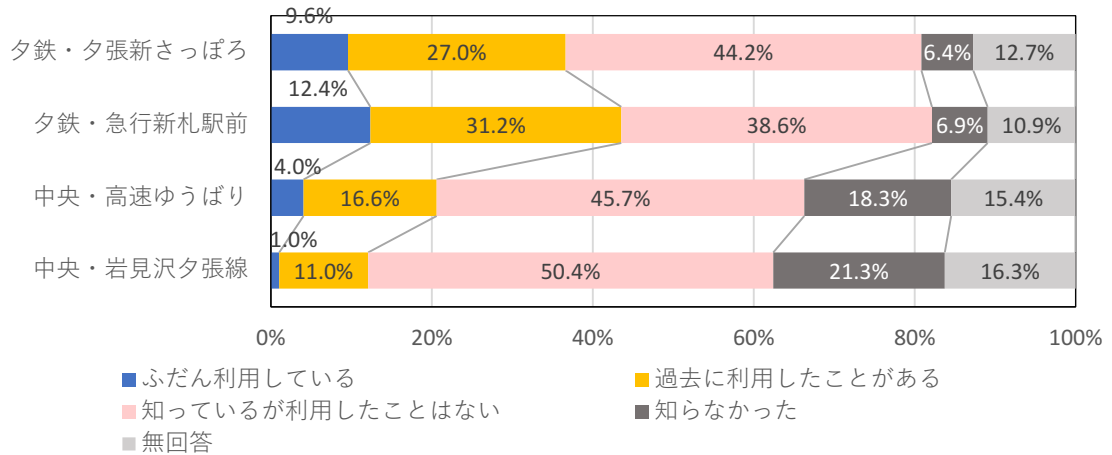
市外移動の目的	回答数 (MA)	選択率 (MA)
通勤・通学	63	4.0%
通院・介護	785	49.8%
買い物・飲食	1,069	67.9%
娯楽・交友	434	27.6%
その他	112	7.1%
当該設問の有効回答数	1,575	



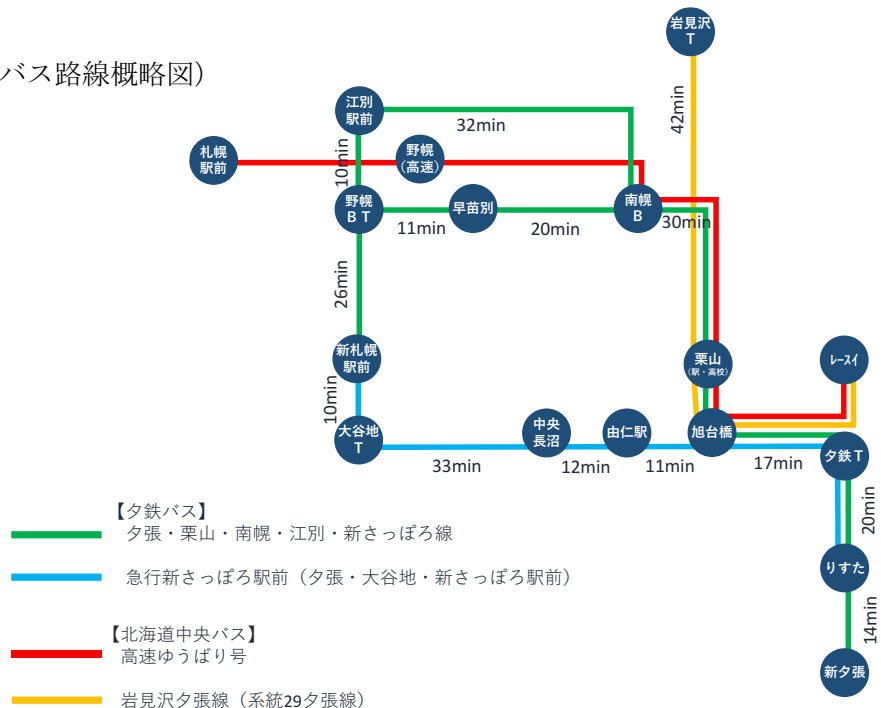
(3) 広域バス路線の認知度・利用経験

夕張市と札幌市などを結ぶ市外4路線それぞれについて、認知・利用経験について質問した。その結果、夕鉄バスの「急行新さっぽろ駅前」と「夕張～新さっぽろ線」は回答者の8割が認知して、4割前後が利用した経験がある。中央バスの「高速ゆうばり号」は認知度6割強で、利用経験は2割である。

	回答数				割合			
	夕鉄・夕張新さっぽろ	夕鉄・急行新札幌駅前	中央・高速ゆうばり	中央・岩見沢夕張線	夕鉄・夕張新さっぽろ	夕鉄・急行新札幌駅前	中央・高速ゆうばり	中央・岩見沢夕張線
ふだん利用している	187	242	79	20	9.6%	12.4%	4.0%	1.0%
過去に利用したことがある	529	610	324	216	27.0%	31.2%	16.6%	11.0%
知っているが利用したことはない	865	755	894	985	44.2%	38.6%	45.7%	50.4%
知らなかった	126	135	357	417	6.4%	6.9%	18.3%	21.3%
無回答	249	214	302	318	12.7%	10.9%	15.4%	16.3%
合計	1,956	1,956	1,956	1,956	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



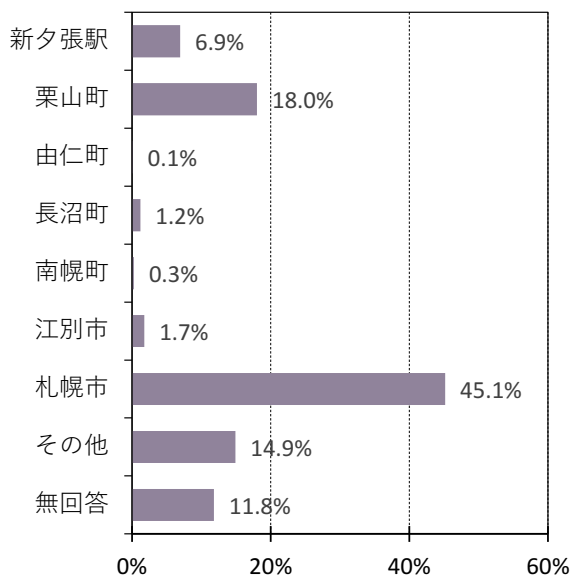
(参考：バス路線概略図)



(4) 広域バス路線が廃線となった場合、どこまで行ければよいか

前述の広域バス路線が廃線となった場合「夕張市から公共交通でどこまで行くことができればよいですか（ひとつに○）」との質問に対し、「札幌市」が最も多く 45%を占めた。次いで多かったのは「栗山町」で 18%である。

どこまで行ければ	回答数	割合
新夕張駅	135	6.9%
栗山町	352	18.0%
由仁町	2	0.1%
長沼町	23	1.2%
南幌町	5	0.3%
江別市	34	1.7%
札幌市	883	45.1%
その他	291	14.9%
無回答	231	11.8%
合計	1,956	100.0%



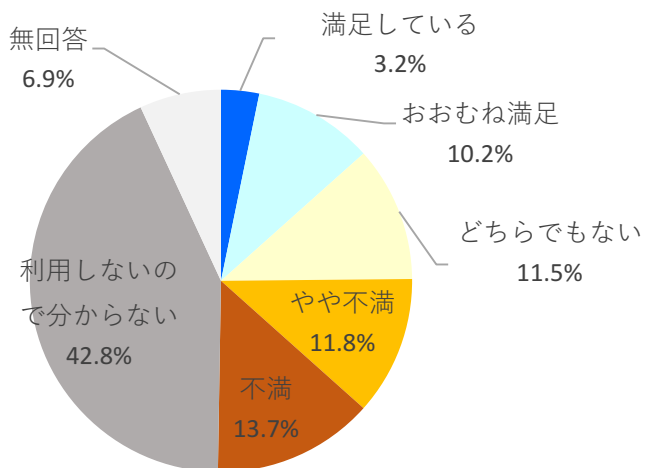
1-2-5 交通サービス評価

(1) 夕張市の公共交通サービスの評価

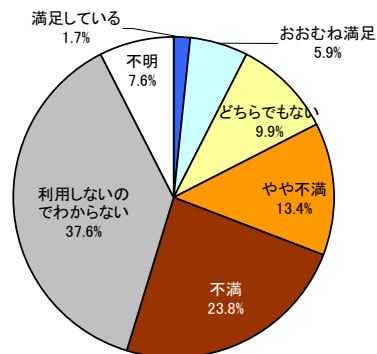
「利用しないので分からない」と答えた方が多いが、「満足」または「おおむね満足」の肯定的な評価よりも、「不満」「やや不満」の否定的な評価が上回っている。

前回（2012年）の公共交通に関するアンケート調査においても「現在の夕張市内の公共交通サービスについて、どのような印象をお持ちですか」という今回とほぼ同様の質問を行っている。その前回調査結果と比較すると、今回は否定的な評価の割合は減少し、肯定的な評価の割合が増加している。

公共交通の評価	回答数	割合
満足している	63	3.2%
おおむね満足	199	10.2%
どちらでもない	224	11.5%
やや不満	230	11.8%
不満	267	13.7%
利用しないので分からない	838	42.8%
無回答	135	6.9%
合計	1,956	100.0%



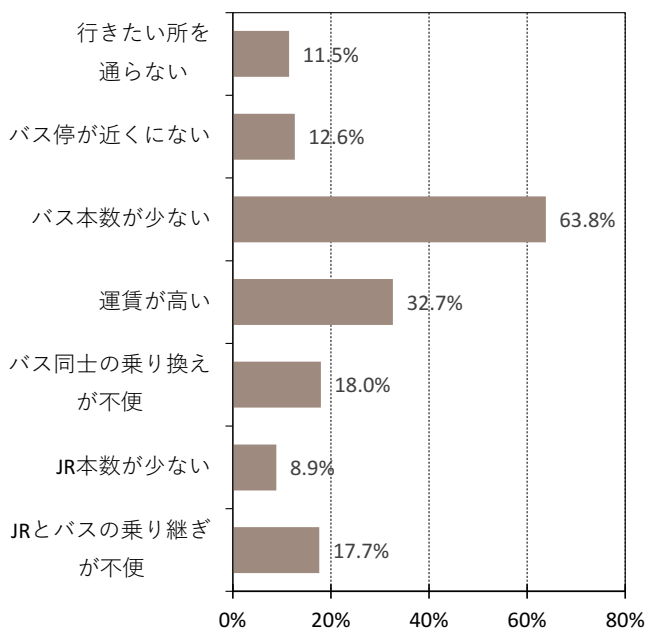
<参考：前回（2012年）調査結果>



(2) 市内線の問題点

市内線の問題点（複数回答可）について、選択肢ごとの指摘率を見ると、「バスの本数が少ない（64%）」「運賃が高い（33%）」といった選択肢の指摘が多い。

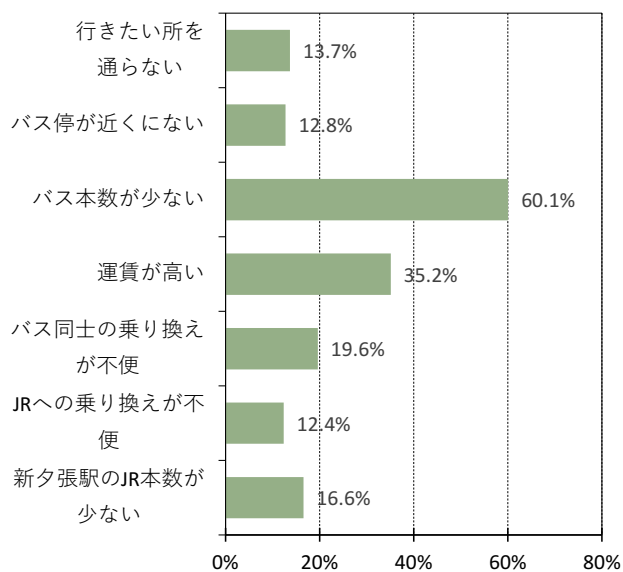
市内線の問題点	回答数 (MA)	選択率 (MA)
行きたい所を通らない	151	11.5%
バス停が近くにない	166	12.6%
バス本数が少ない	838	63.8%
運賃が高い	429	32.7%
バス同士の乗り換えが不便	236	18.0%
JR本数が少ない	117	8.9%
JRとバスの乗り継ぎが不便	232	17.7%
有効回答数	1,313	



(3) 市外線の問題点

市外線の問題点（複数回答可）について選択肢ごとの指摘率を見ると、市内線と同様に「バスの本数が少ない（60%）」「運賃が高い（35%）」といった選択肢の指摘が多い。

市外線の問題点	回答数 (MA)	選択率 (MA)
行きたい所を通らない	176	13.7%
バス停が近くにない	164	12.8%
バス本数が少ない	771	60.1%
運賃が高い	451	35.2%
バス同士の乗り換えが不便	252	19.6%
JRへの乗り換えが不便	159	12.4%
新夕張駅のJR本数が少ない	213	16.6%
有効回答数	1,283	

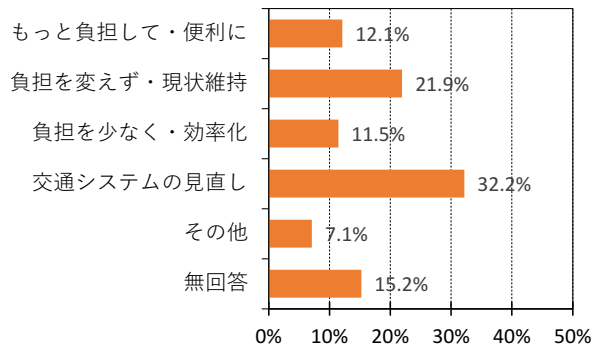


1-2-6 今後のあり方

(1) 市内線の方向性

「これからの夕張市の市内線の方向性として、考えに最も近いものを1つ選んで下さい」との設問については、「路線バスよりも運行経費が少ない交通システムに見直す」と答えた方が最も多い。

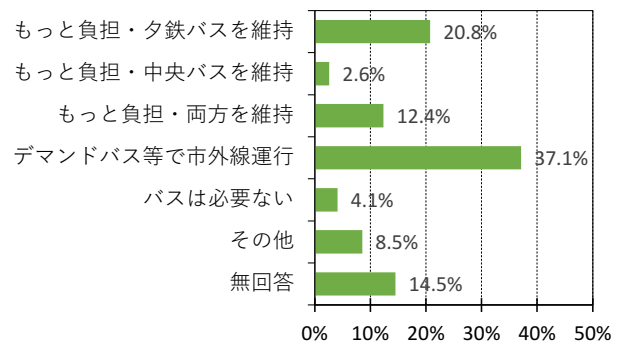
市内線の方向性	回答数	割合
もっと負担して・便利に	237	12.1%
負担を変えず・現状維持	429	21.9%
負担を少なく・効率化	224	11.5%
交通システムの見直し	629	32.2%
その他	139	7.1%
無回答	298	15.2%
合計	1,956	100.0%



(2) 市外線の方向性

「これからの夕張市の市外線の方向性として、考えに最も近いものを1つ選んで下さい」との設問については、「路線バスよりも運行経費が少ないデマンドバスなどの導入で市外線を運行する」と答えた方が最も多い。

市外線の方向性	回答数	割合
もっと負担・夕鉄バスを維持	406	20.8%
もっと負担・中央バスを維持	51	2.6%
もっと負担・両方を維持	242	12.4%
デマンドバス等で市外線運行	726	37.1%
バスは必要ない	80	4.1%
その他	167	8.5%
無回答	284	14.5%
合計	1,956	100.0%



1-2-7 路線バスを使った市外移動実態

(1) 分析対象・集計方法

アンケート調査では、目的別に外出頻度と交通手段と行き先を回答いただいている。

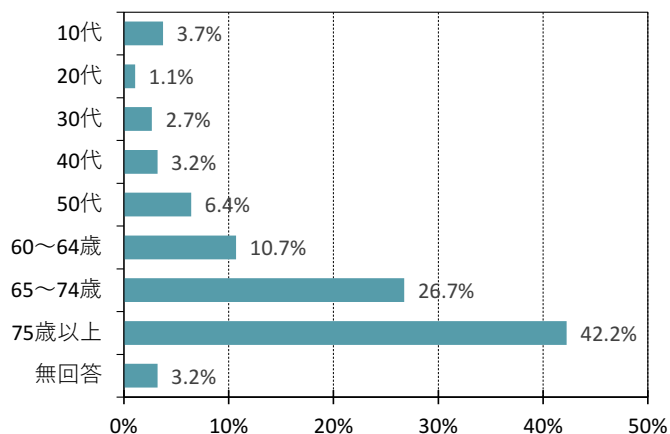
そこで「交通手段に路線バスを含む」かつ「行き先に市外の目的地を含む」ものを抽出し、その回答から傾向分析を行う。

抽出した回答者は187人分である。一人の回答者が複数の目的で該当している場合があるため、回答データ数は247データである。

以下の分析では、年齢や住所などの回答者属性は「回答者数」で集計し、目的別の行き先などは「回答データ数」で集計している。

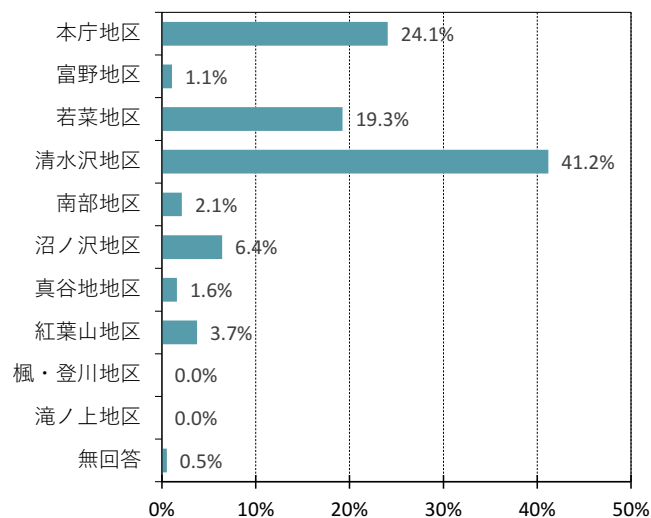
(2) 年齢（回答者数集計）

年齢	回答者数	割合
10代	7	3.7%
20代	2	1.1%
30代	5	2.7%
40代	6	3.2%
50代	12	6.4%
60～64歳	20	10.7%
65～74歳	50	26.7%
75歳以上	79	42.2%
無回答	6	3.2%
合計	187	100.0%



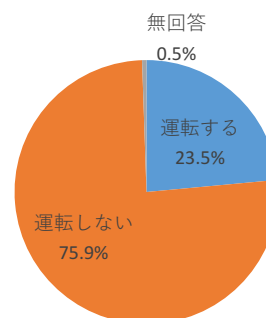
(3) 居住地区（回答者数集計）

居住地区	回答者数	割合
本庁地区	45	24.1%
富野地区	2	1.1%
若菜地区	36	19.3%
清水沢地区	77	41.2%
南部地区	4	2.1%
沼ノ沢地区	12	6.4%
真谷地地区	3	1.6%
紅葉山地区	7	3.7%
楓・登川地区	0	0.0%
滝ノ上地区	0	0.0%
無回答	1	0.5%
合計	187	100.0%



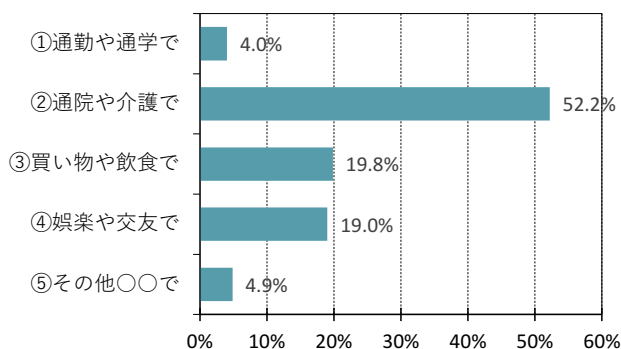
(4) ふだんの自動車運転有無（回答者数集計）

運転の有無	回答者数	割合
運転する	44	23.5%
運転しない	142	75.9%
無回答	1	0.5%
合計	187	100.0%



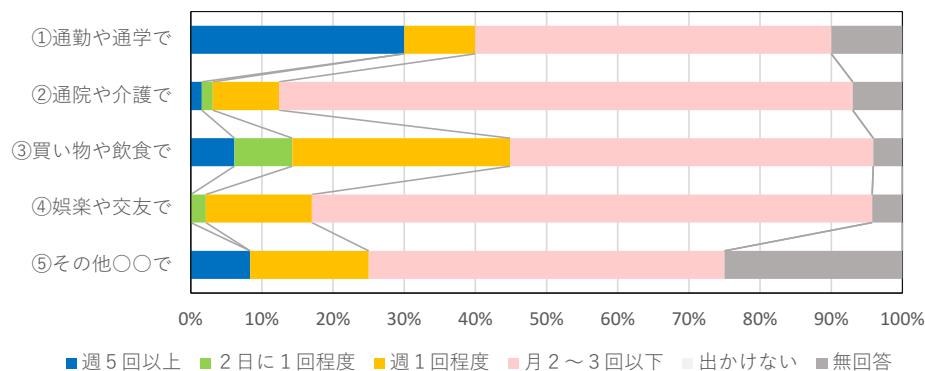
(5) 移動の目的（回答データ数集計）

目的（用事）	回答データ数	割合
①通勤や通学で	10	4.0%
②通院や介護で	129	52.2%
③買い物や飲食で	49	19.8%
④娯楽や交友で	47	19.0%
⑤その他〇〇で	12	4.9%
合計	247	100.0%



(6) 目的別の外出頻度（回答データ数集計）

	回答データ数	頻度別回答データ数						頻度別割合					
		週5回以上	2日に1回程度	週1回程度	月2～3回以下	出かけない	無回答	週5回以上	2日に1回程度	週1回程度	月2～3回以下	出かけない	無回答
①通勤や通学で	10	3	0	1	5	0	1	30%	0%	10%	50%	0%	10%
②通院や介護で	129	2	2	12	104	0	9	2%	2%	9%	81%	0%	7%
③買い物や飲食で	49	3	4	15	25	0	2	6%	8%	31%	51%	0%	4%
④娯楽や交友で	47	0	1	7	37	0	2	0%	2%	15%	79%	0%	4%
⑤その他〇〇で	12	1	0	2	6	0	3	8%	0%	17%	50%	0%	25%



(7) 目的別の行き先（回答データ数集計、複数回答可）

	回答 データ数	行き先別回答データ数 (MA)						
		札幌	栗山	長沼	岩見沢	苫小牧	恵庭	左記以外
①通勤や通学で	10	2	7	0	4	0	0	0
②通院や介護で	129	62	54	15	18	3	4	1
③買い物や飲食で	49	17	33	3	8	1	0	1
④娯楽や交友で	47	34	11	0	6	2	0	2
⑤その他〇〇で	12	8	3	0	1	0	0	0

	行き先別選択率 (MA)						
	札幌	栗山	長沼	岩見沢	苫小牧	恵庭	左記以外
①通勤や通学で	20.0%	70.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
②通院や介護で	48.1%	41.9%	11.6%	14.0%	2.3%	3.1%	0.8%
③買い物や飲食で	34.7%	67.3%	6.1%	16.3%	2.0%	0.0%	2.0%
④娯楽や交友で	72.3%	23.4%	0.0%	12.8%	4.3%	0.0%	4.3%
⑤その他〇〇で	66.7%	25.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%

2 広域バス路線の課題把握調査

2-1 バス利用実態調査の内容

2-1-1 調査の概要

(1) 調査の目的

夕張市と市外を結ぶ広域バス路線（「夕張・栗山・南幌・江別・新さっぽろ線」「急行新さっぽろ駅前」「高速ゆうばり号」「岩見沢夕張線」）について利用の実態を把握し、課題を把握する。

(2) 調査の構成

「A. 乗降者数調査」「B. 利用実態把握調査」の2つで調査を構成する。

A. 乗降者数調査（カウント調査）

- ・夕張市内の区間について停留所別の乗車数／降車数を把握する。一般、子供（小学生以下）、中高生の3区分でカウントする。

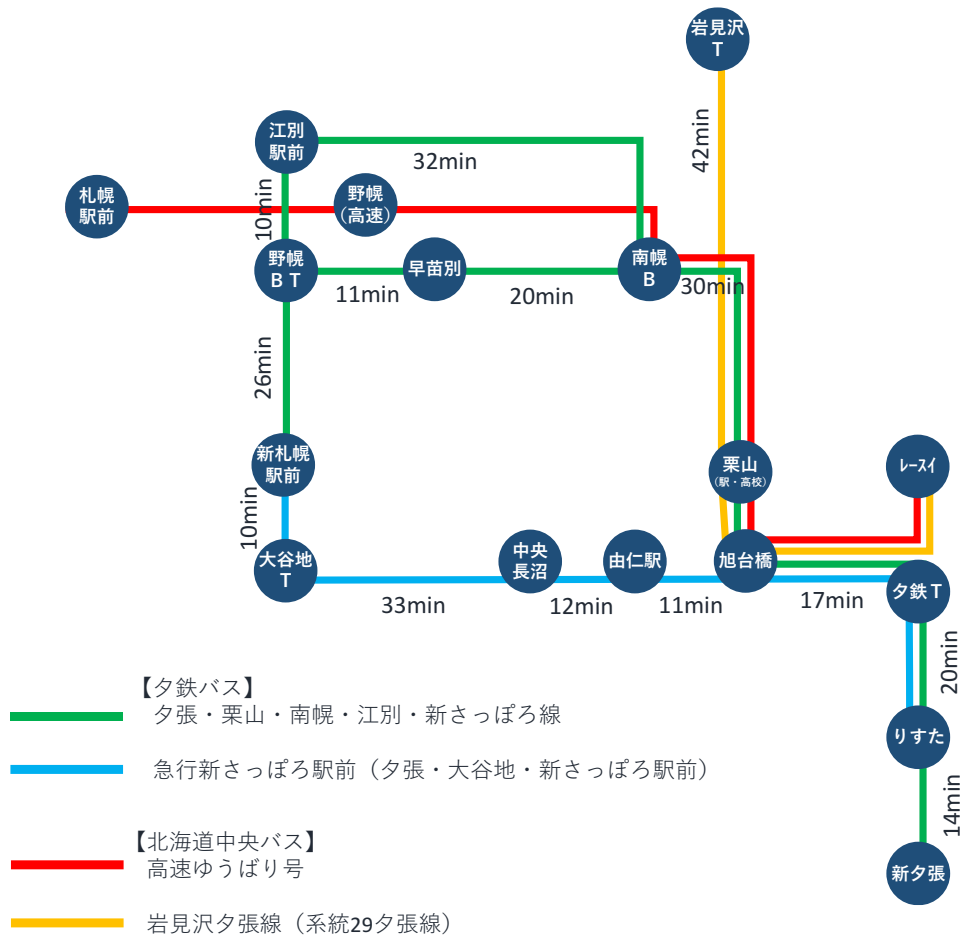
B. 利用実態把握調査（聞き取り調査）

- ・対象路線を利用して「夕張市内から市外へ」または「市外から夕張市内へ」移動する乗客を対象に、利用実態を把握する。ただし、幼児・小学生以下は対象外とする。

(3) 対象路線

	事業者	路線	起終点	便数(平日)
①	夕鉄	夕張・栗山・南幌・江別・新さっぽろ線	新札幌駅 T～栗山駅～夕張 (新夕張駅)	3往復*
②	バス	急行新さっぽろ駅前	新札幌駅 T～長沼・由仁～夕張(りすた)	4往復
③	北海道	高速ゆうぱり号	札幌駅前～夕張(レースイ)	3往復
④	中央バス	岩見沢夕張線	岩見沢ターミナル～夕張(レースイ)	1往復

※夕張市内のみ運行便を除く。市外のみ運行便を除く。登校日のみ運行便を含む。



(4) 調査対象区間

	事業者	路線	【夕張市内区間】 A. 乗降者数調査の対象区間	【市外区間】
①	夕鉄 バス	夕張・栗山・南幌・江別・新さっぽろ線	新夕張駅前～沼ノ沢～りすた～夕鉄 BT～富野～二岐橋	日の出・新二岐～継立～夕張橋～栗山高校～南幌ビューロー～新札幌駅前
②		急行新さっぽろ駅前	りすた～夕鉄 BT～富野～二岐橋	新二岐～継立～夕張橋～由仁駅前～中央長沼～大谷地BT～新札幌駅前
③	北海道 中央バス	高速ゆうばり号	レースイ・夕張郵便局・末広1・鹿の谷・夕張テニス	新二岐・継立・角田本通・日赤病院前・栗山駅前～南幌ビューロー～(高速)野幌～札幌駅前ターミナル
④		岩見沢夕張線	レースイ・夕張郵便局・末広1・鹿の谷・夕張テニス・富野	新二岐・継立・旭台橋～角田本通～日赤病院前～栗山駅前～栗沢駅前～岩見沢ターミナル
B. 利用実態把握調査の対象は【市内区間】と【市外区間】を跨いで利用する乗客				

(5) 調査日

2022年10月19日(水)

10月中旬の平日のうち特異日でないこと(沿線の医療機関の休診日でないこと、学校休校日でないこと、公民館等でイベントを実施予定がないこと)を確認し、上記日程で設定した。

当日の天候は曇り時々雨。夕張観測局の最高気温は10.8℃、最低気温は1.3℃であった。

2-1-2 調査の方法

(1) 調査項目

調査区分	調査方法	調査項目
A. 乗降者数調査 (カウント調査)	調査員が記入	<ul style="list-style-type: none"> 各バス停での年齢3区分の乗車・降車人数 (「小学生以下」「中学・高校生」「成人」の3区分) (未就学児はカウントしない)
B. 利用実態把握調査 (聞き取り調査)	乗客の回答に基づき調査員が記入する。 小学生以下は対象外。	<ul style="list-style-type: none"> 居住地の自治体名 乗車バス停留所 降車バス停留所 移動の目的と目的地(名称) バス乗車前後の乗り継ぎ このバスの利用頻度 このバスが使えない場合の移動手段 運転免許の有無 送迎してくれる家族の有無 年齢(10代/20代/・・・/80代以上)
	調査員が記入	<ul style="list-style-type: none"> 系統/便番号

(2) 調査票

夕張市 広域バス利用実態調査		便番号	帳票番号
Q1	乗車バス停		
Q2	降車バス停		
Q3	移動の目的	1. 通勤 3. 通院・介護 5. 娯楽・交友 7. その他 ()	2. 通学 4. 買い物・飲食 6. 帰宅
Q4	目的地		
Q5	降車後の乗り継ぎ	1. JRや地下鉄に乗り継ぐ 2. 他のバスに乗り継ぎ 3. 送迎(迎えに来てもらう) 4. その他 () 5. 無し(徒歩)	
Q6	このバスの利用頻度	1. 週5回以上 3. 週1回程度	2. 2日に1回程度他 4. 月2～3回以下
Q7	代替移動手段	1. 自家用車を運転 3. タクシー 5. 福祉運送 7. バスの他に移動手段が無い	2. 家族や知人による送迎 4. 病院の送迎車 6. その他 ()
Q8	住所(自治体名)	1. 夕張市	2. その他 ()
Q9	年齢	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代以上	
Q10	運転免許の有無	1. 有り	2. なし
Q11	車を運転する家族の有無	1. 有り	2. なし
Q12	その他意見・備考		

2-2 バス利用実態調査の結果

2-2-1 乗降者数調査

(1) 夕張・栗山・南幌・江別・新さっぽろ線（夕鉄バス）

①便別の乗車・降車客数

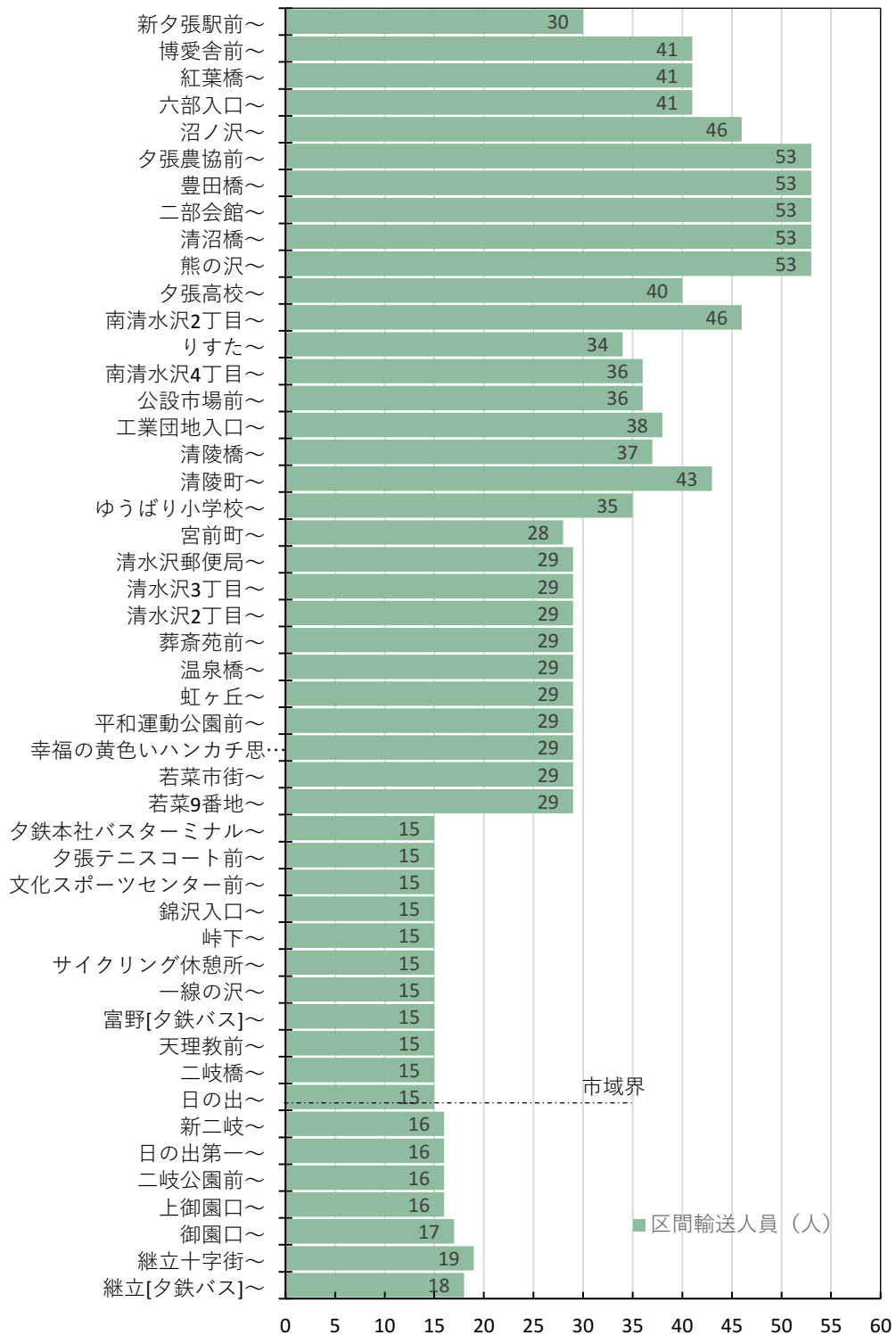
方向	便	乗車			降車			乗車 計	降車 計
		一般	子ども	中高生	一般	子ども	中高生		
夕張→札幌	新夕張駅前 7:37 発	10	11	16	7	11	16	37	34
	新夕張駅前 8:31 発	5	0	0	1	0	0	5	1
	新夕張駅前 13:56 発	8	5	0	7	5	0	13	12
札幌→夕張	新夕張駅前 13:28 着	5	0	0	7	0	0	5	7
	新夕張駅前 16:18 着	9	2	13	15	2	13	24	30
	新夕張駅前 19:38 着	2	0	0	3	0	1	2	4
上記の合計		39	18	29	40	18	30	86	88

②停留所別の乗車・降車客数

バス停名	新夕張駅前⇒栗山・新さっぽろ						新さっぽろ・栗山⇒新夕張駅前									
	乗車			降車			乗車 計	降車 計	乗車			降車			乗車 計	降車 計
	一般	子ども	中高生	一般	子ども	中高生			一般	子ども	中高生	一般	子ども	中高生		
新夕張駅前	2	11	7				20					3	2	5		10
博愛舎前	1		4				5					2		4		6
紅葉橋																
六部入口																
沼ノ沢	1		4				5									
夕張農協前	2						2					1		4		5
豊田橋																
二部会館																
清沼橋																
熊の沢																
夕張高校						9	9			4					4	
南清水沢2丁目	3						3					3				3
りすた	4			2		5	4	7	3		9	3			12	3
南清水沢4丁目	2						2		1			1			1	1
公設市場前																
工業団地入口	1						1		1			2			1	2
清陵橋				1				1								
清陵町	2						2		1			5			1	5
ゆうばり小学校		5			11		5	11		2					2	
宮前町				2		1		3	4						4	
清水沢郵便局												1				1
清水沢3丁目	1			1			1	1								
清水沢2丁目																
葬斎苑前																
温泉橋																
虹ヶ丘																
平和運動公園前																
幸福の黄色いハンカチ思い出ひろば入口																
若菜市街																
若菜9番地																
夕鉄本社バスターミナル	2		1	9	5		3	14	5			1		1	5	2
夕張テニスコート前																
文化スポーツセンター前																
錦沢入口																
峠下																
サイクリング休憩所																
一線の沢																
富野[夕鉄バス]																
天理教前																
二岐橋																
日の出																
新二岐												1				1
日の出第一																
二岐公園前																
上御園口																
御園口												1				1
継立十字街	2						2		1			1			1	1
継立[夕鉄バス]						1		1								
調査区間合計	23	16	16	15	16	16	55	47	16	2	13	25	2	14	31	41

③区間輸送人員

6便合計の区間輸送人員は、最大区間で53人、市域界を跨ぐ区間では15人となっている。



(2) 急行新さっぽろ駅前（夕鉄バス）

①便別の乗車・降車客数

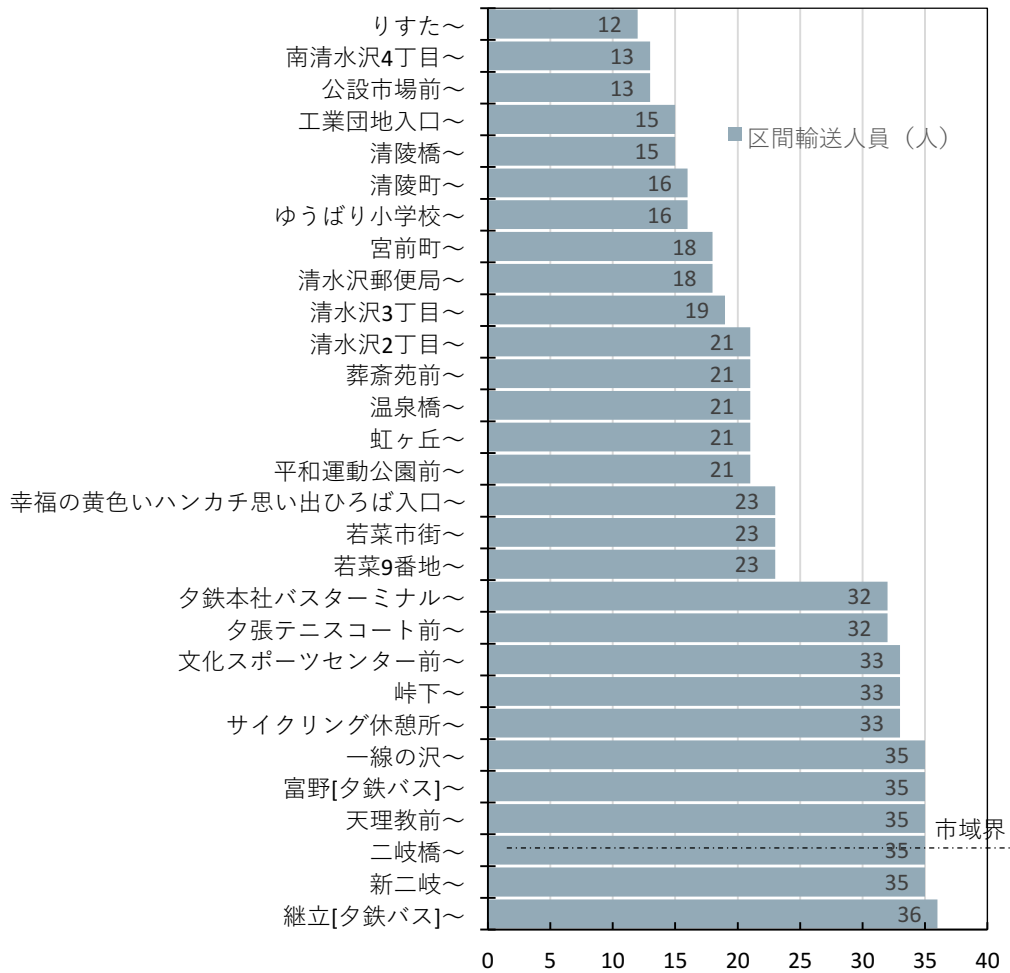
方向	便	乗車			降車			乗車計	降車計
		一般	子ども	中高生	一般	子ども	中高生		
夕張→札幌	りすた 7:15 発	9	0	0	2	0	0	9	2
	りすた 8:50 発	7	0	0	0	0	0	7	0
	りすた 14:15 発	2	0	0	0	0	0	2	0
	りすた 16:20 発	4	0	0	0	0	0	4	0
札幌→夕張	りすた 11:03 着	1	0	0	3	0	0	1	3
	りすた 14:43 着	0	0	0	6	0	0	0	6
	りすた 18:08 着	0	0	0	7	0	0	0	7
	りすた 20:13 着	2	0	0	3	0	0	2	3
上記の合計		25	0	0	21	0	0	25	21

②停留所別の乗車・降車客数

バス停名	りすた⇒長沼・新さっぽろ						新さっぽろ・長沼⇒りすた									
	乗車			降車			乗車計	降車計	乗車			降車			乗車計	降車計
	一般	子ども	中高生	一般	子ども	中高生			一般	子ども	中高生	一般	子ども	中高生		
りすた	7					7						5				5
南清水沢4丁目												1				1
公設市場前																
工業団地入口	2					2										
清陵橋																
清陵町												1				1
ゆうばり小学校																
宮前町	1					1			1			2			1	2
清水沢郵便局																
清水沢3丁目												1				1
清水沢2丁目	1					1						1				1
葬斎苑前																
温泉橋																
虹ヶ丘																
平和運動公園前																
幸福の黄色いハンカチ思い出ひろば入口	1					1						1				1
若菜市街																
若菜9番地																
夕鉄本社バスターミナル	8			2		8	2	2				5			2	5
夕張テニスコート前																
文化スポーツセンター前	1					1										
峠下																
サイクリング休憩所																
一線の沢	1					1						1				1
富野[夕鉄バス]																
天理教前																
二岐橋																
新二岐																
継立[夕鉄バス]												1				1
調査区間合計	22			2		22	2	3				19			3	19

③区間輸送人員

8便合計の区間輸送人員は、最大区間で36人、市域界を跨ぐ区間では35人となっている。



(3) 高速ゆうぱり号（北海道中央バス）

①便別の乗車・降車客数

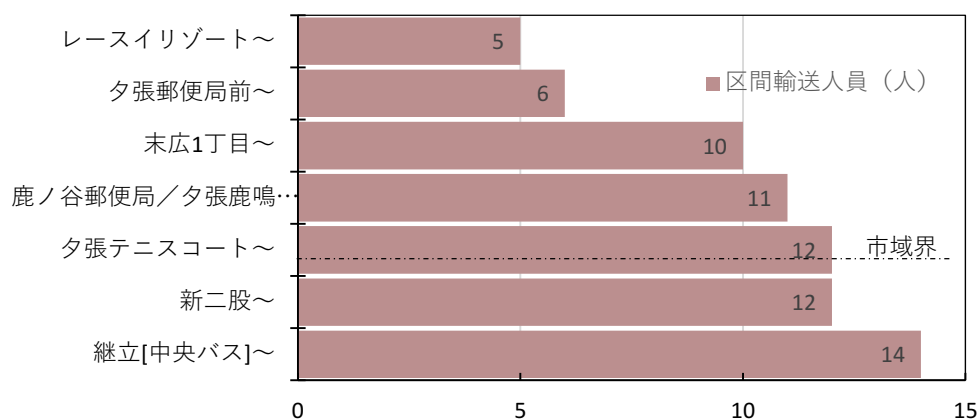
方向	便	乗車			降車			乗車計	降車計
		一般	子ども	中高生	一般	子ども	中高生		
夕張→札幌	レースイリゾート 8:53 発	2	0	0	0	0	0	2	0
	レースイリゾート 12:43 発	2	0	0	0	0	0	2	0
	レースイリゾート 15:43 発	1	0	0	0	0	0	1	0
札幌→夕張	レースイリゾート 10:54 着	0	0	0	5	0	0	0	5
	レースイリゾート 14:09 着	0	0	0	3	0	0	0	3
	レースイリゾート 18:14 着	0	0	0	1	0	0	0	1
上記の合計		5	0	0	9	0	0	5	9

②停留所別の乗車・降車客数

バス停名	レースイ⇒栗山・札幌駅							札幌駅・栗山⇒レースイ								
	乗車			降車			乗車計	降車計	乗車			降車			乗車計	降車計
	一般	子ども	中高生	一般	子ども	中高生			一般	子ども	中高生	一般	子ども	中高生		
レースイリゾート	1						1									4
夕張郵便局前																1
未広1丁目	1						1									3
鹿ノ谷郵便局/夕張鹿鳴																1
夕張テニスコート	1						1									
新二股																
継立[中央バス]	2						2									
調査区間合計	5						5									9

③区間輸送人員

6便合計の区間輸送人員は最大区間で14人、市域界を跨ぐ区間では12人となっている。



(4) 岩見沢夕張線（北海道中央バス）

①便別の乗車・降車客数

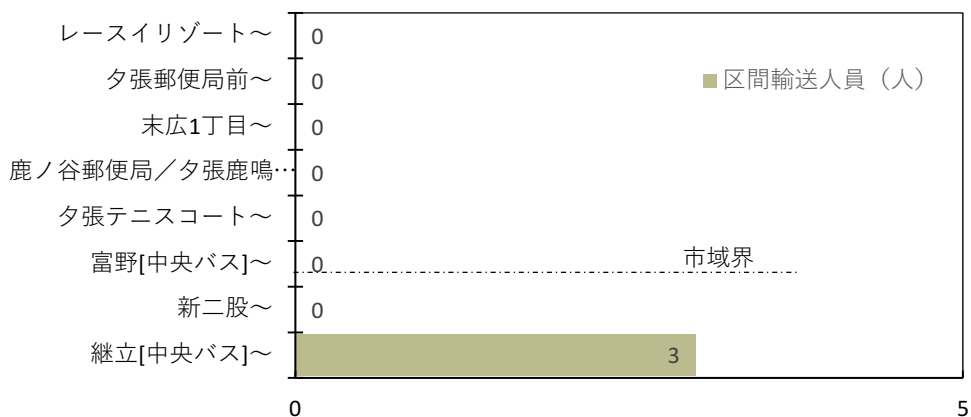
方向	便	乗車			降車			乗車 計	降車 計
		一般	子ども	中高生	一般	子ども	中高生		
夕張→岩見沢	レースイリゾート 18:52 発	1	0	0	0	0	0	1	0
岩見沢→夕張	レースイリゾート 8:04 着	0	0	0	2	0	0	0	2
上記の合計		1	0	0	2	0	0	1	2

②停留所別の乗車・降車客数

バス停名	レースイ⇒岩見沢駅						岩見沢駅⇒レースイ									
	乗車			降車			乗車 計	降車 計	乗車			降車			乗車 計	降車 計
	一 般	子 ど も	中 高 生	一 般	子 ど も	中 高 生			一 般	子 ど も	中 高 生	一 般	子 ど も	中 高 生		
レースイリゾート																
夕張郵便局前																
末広1丁目																
鹿ノ谷郵便局/夕張鹿鳴館入口																
夕張テニスコート																
富野[中央バス]																
新二股																
継立[中央バス]	1						1					2				2
調査区間合計	1						1					2				2

③区間輸送人員

2便合計の区間輸送人員は最大区間で3人、市域界を跨ぐ区間では0人となっている。



2-2-2 利用実態把握調査

広域バス路線の夕張市内区間と市外区間を跨いで利用する乗客に対して、利用実態の聞き取り調査を行った。なお、行き帰りの2回乗車した乗客については回答がダブルカウントされていることに留意が必要である。

(1) 路線別回答者数

前項のとおり市域界を跨いで利用する乗客は62人であったが、このうち58人から回答を得た。

「急行新さっぽろ駅前」の乗客からの回答が最も多く、当該路線の回答で過半数を占めている。

路線	方向	回答数	割合
夕張・栗山・南幌 ・江別・新さっぽろ線	夕張→札幌	6	10.3%
	札幌→夕張	8	13.8%
急行 新さっぽろ駅前	夕張→札幌	20	34.5%
	札幌→夕張	13	22.4%
高速ゆうばり号	夕張→札幌	3	5.2%
	札幌→夕張	8	13.8%
岩見沢夕張線	夕張→岩見沢	0	0.0%
	岩見沢→夕張	0	0.0%
合計		58	100.0%

(2) 住所

「夕張市」が79%を占める。

また住所が夕張市外であっても、市内の親元（実家）を訪ねるなどの回答も複数みられる。

住所	回答数	割合
夕張市	46	79.3%
札幌市	4	6.9%
他道内	1	1.7%
道外	7	12.1%
合計	58	100.0%

(3) 年齢

「60代」「70代」がともに29%を占める。

	回答数	割合
10代	2	3.4%
20代	2	3.4%
30代	3	5.2%
40代	4	6.9%
50代	11	19.0%
60代	17	29.3%
70代	17	29.3%
80代以上	2	3.4%
合計	58	100.0%

(4) 運転免許の有無

「運転免許を持っていない」が71%を占める。

	回答数	割合
運転免許を持っている	17	29.3%
ない	41	70.7%
合計	58	100.0%

(5) 車を運転する家族の有無

「車を運転する家族がいる」が52%、
「いない」が48%とほぼ半々である。

	回答数	割合
車を運転する家族がいる	30	51.7%
いない	28	48.3%
合計	58	100.0%

(6) 移動の目的

「帰宅（45%）」を除くと、「通院・介護」が21%と多く、次いで「娯楽・交友」が12%である。

路線	方向	目的							計
		通勤	通学	通院 ・介護	買い物 ・飲食	娯楽 ・交友	帰宅	その他	
夕張・栗山・南幌 ・江別・新さっぽろ線	夕張→札幌	0	1	3	1	1	0	0	6
	札幌→夕張	0	0	0	0	0	8	0	8
急行 新さっぽろ駅前	夕張→札幌	0	0	8	1	2	2	7	20
	札幌→夕張	0	0	1	0	0	11	1	13
高速ゆうばり号	夕張→札幌	0	0	0	1	0	1	1	3
	札幌→夕張	0	0	0	0	4	4	0	8
合計		0	1	12	3	7	26	9	58
合計（割合）		0.0%	1.7%	20.7%	5.2%	12.1%	44.8%	15.5%	100.0%

(7) 降車後の乗り継ぎ

「夕張・栗山・南幌・江別・新さっぽろ線」は、バス降車後にJRやバスなどに乗り継ぐ乗客は少ない。

また、「急行新さっぽろ駅前」で札幌に向かう乗客は、バス降車後に「JR・地下鉄」へ乗り継ぐ方が多い。逆方向の夕張に向かう乗客は降車後に「乗り継がない」方が多い。

一方で「高速ゆうばり号」については、夕張に向かう乗客の半数が降車後に「他のバスに乗り継ぐ」と回答している。

路線	方向	降車後の乗り継ぎ					計
		JR・地下鉄	他のバス	送迎	その他	無し	
夕張・栗山・南幌 ・江別・新さっぽろ線	夕張→札幌	0	1	2	0	3	6
	札幌→夕張	1	1	0	0	6	8
急行 新さっぽろ駅前	夕張→札幌	13	2	2	2	1	20
	札幌→夕張	0	3	2	1	7	13
高速ゆうばり号	夕張→札幌	0	1	0	0	2	3
	札幌→夕張	0	4	0	0	4	8
合計		14	12	6	3	23	58
合計（割合）		24.1%	20.7%	10.3%	5.2%	39.7%	100.0%

(8) 利用頻度

「このバスの利用頻度」は「月2～3回以下」との回答が97%を占める。

路線	方向	利用頻度				計
		週5以上	2日に1回	週1回	月2以下	
夕張・栗山・南幌 ・江別・新さっぽろ線	夕張→札幌	1	0	0	5	6
	札幌→夕張	0	0	0	8	8
急行 新さっぽろ駅前	夕張→札幌	0	0	1	19	20
	札幌→夕張	0	0	0	13	13
高速ゆうばり号	夕張→札幌	0	0	0	3	3
	札幌→夕張	0	0	0	8	8
合計		1	0	1	56	58
合計（割合）		1.7%	0.0%	1.7%	96.6%	100.0%

(9) 代替移動手段

「バスの他に移動手段が無い」との回答が50%を占める。

路線	方向	代替移動手段							計
		自家用車 (運転)	自家用車 (送迎)	タクシー	病院送迎	福祉運送	その他	無し	
夕張・栗山・南幌 ・江別・新さっぽろ線	夕張→札幌	0	3	0	0	0	0	3	6
	札幌→夕張	1	2	0	0	0	1	4	8
急行 新さっぽろ駅前	夕張→札幌	1	5	3	0	0	1	10	20
	札幌→夕張	1	3	0	0	0	1	8	13
高速ゆうばり号	夕張→札幌	0	2	0	0	0	0	1	3
	札幌→夕張	0	2	3	0	0	0	3	8
合計		3	17	6	0	0	3	29	58
合計（割合）		5.2%	29.3%	10.3%	0.0%	0.0%	5.2%	50.0%	100.0%

3 デマンド交通等の課題把握

3-1 デマンド交通サービス地域住民アンケート調査

3-1-1 調査内容

デマンド交通が運行している南部地区と真谷地地区を対象に、デマンド交通に関するアンケート票を「市民アンケート」と併せて配布した。

アンケート票は次頁のとおりである。

分類	調査項目
回答者属性	年齢・性別、居住地
デマンド交通の利用	認知度・利用経験、利用目的、乗車場所
改善意見	不満や改善点、利用可能性、デマンド交通の評価、自由意見

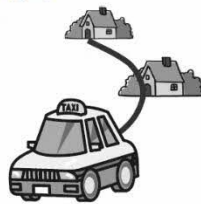
デマンド交通（デマンド南部線・デマンド真谷地線）に関するアンケート

南部地区と真谷地地区に居住する方には、デマンド交通に関する調査票を追加しています。「夕張市公共交通に関するアンケート調査（A3 版二つ折りの調査票）」とともに、返信用封筒へ入れて送付してください。

デマンド交通（乗合タクシー）とは？

予約があった時だけ運行する、バスとタクシーの中間のようなサービスです。

南部地区と真谷地地区では、右の時刻表のように運行中です。



	所要時間		所要時間	
真谷地	0:20	清水沢	0:30	南部
		9:00	→	9:30
		10:00	←	9:30
10:25	←	10:05		
10:25	→	10:45		
		11:00	→	11:30
		12:00	←	11:30
12:25	←	12:05		
12:25	→	12:45		
		15:00	→	15:30
		16:00	←	15:30
16:30	←	16:10		
16:30	→	16:50		
		18:10	→	18:40

利用方法は？

- ① まずは利用者登録
- ② 利用する1時間前までに予約
- ③ 指定の時間・場所でお待ちください

利用者登録と予約先は？

丸北ハイヤー（0123-59-7500）までお電話を

まず 利用経験について お聞きします

Q1 デマンド交通（南部線・真谷地線）を利用したことはありますか？

1. 利用したことがある 2. 知っているが利用したことはない 3. 知らなかった	} → 裏面のQ4へお進みください
---	-------------------

（利用したことがある方にお聞きします）

Q2 どのような目的（用事）で利用しましたか？（あてはまるもの全てに○）

1. 通勤や通学	2. 通院や介護	3. 買い物や飲食
4. 娯楽や交友	5. その他（ ）	

Q3 指定の乗車場所はどこでしたか？

1. 自宅のすぐ近く 2. 自宅から少し離れた幹線道路沿い 3. 目印になる建物
--

(利用したことがある方も、無い方もお答えください)

デマンド交通の改善に向けて お聞きします

Q 4 デマンド交通の不満や改善すべき点は？ (あてはまるもの全てに○)

- 1. 利用方法が周知されていない
- 2. 申し込みしないと料金や乗降場所などが分からない
- 3. 電話でしか、予約申し込みや利用者登録を受け付けていない
- 4. 利用したい時間帯に運行していない
(希望する時間帯をご記入ください：)
- 5. 行きたい方向へ運行していない
- 6. 誰と相乗りになるか分からないので不安
- 7. 料金が高い
- 8. その他 ()

Q 5 上記が改善されたら、ご自身はデマンド交通を利用しますか。(ひとつに○)

- 1. 利用するようになる / 今より利用回数が増える
- 2. 今と変わらず利用する
- 3. 改善されても利用しない ●

利用しない理由は？ (あてはまるもの全てに○)

- 1. 自分で自動車を運転したほうが便利だから
- 2. 家族や知人に送ってもらえるから
- 3. 外出をしないから
- 4. その他 ()

Q 6 総合的に見て、現在のデマンド交通に満足していますか。(ひとつに○)

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1. 満足している | 2. おおむね満足 | 3. どちらでもない |
| 4. やや不満 | 5. 不満 | 6. わからない |

Q 7 デマンド交通についてご意見をお書きください。

Q 8 回答くださった方の性別、年齢、お住いの地区は？

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

- | | | | |
|--------|-----------|-----------|----------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代 |
| 5. 50代 | 6. 60~64歳 | 7. 65~74歳 | 8. 75歳以上 |

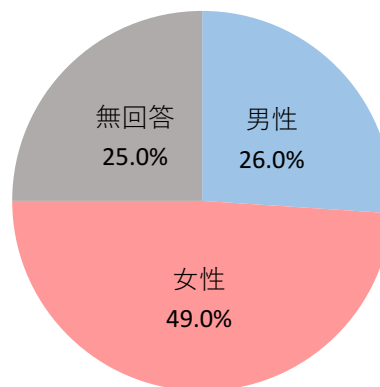
- | | |
|---------|----------|
| 1. 南部地区 | 2. 真谷地地区 |
|---------|----------|

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

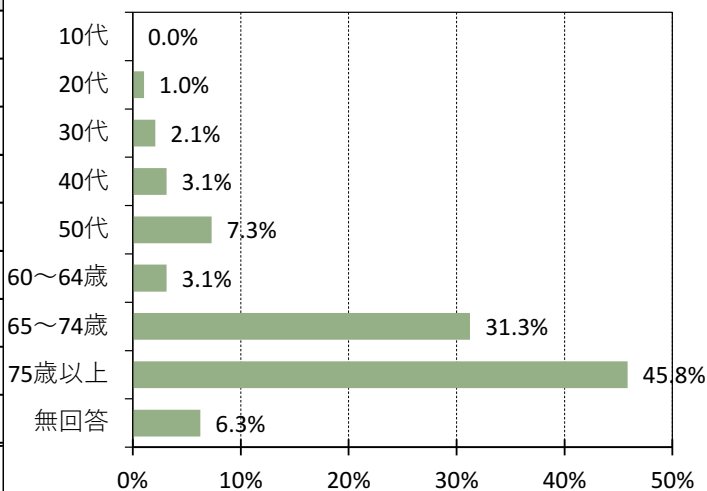
3-1-2 調査結果

(1) 性別・年齢・住所

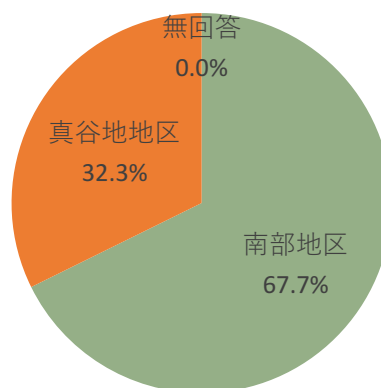
性別	回答数	割合
男性	25	26.0%
女性	47	49.0%
無回答	24	25.0%
合計	96	100.0%



年齢	回答数	割合
10代	0	0.0%
20代	1	1.0%
30代	2	2.1%
40代	3	3.1%
50代	7	7.3%
60～64歳	3	3.1%
65～74歳	30	31.3%
75歳以上	44	45.8%
無回答	6	6.3%
合計	96	100.0%

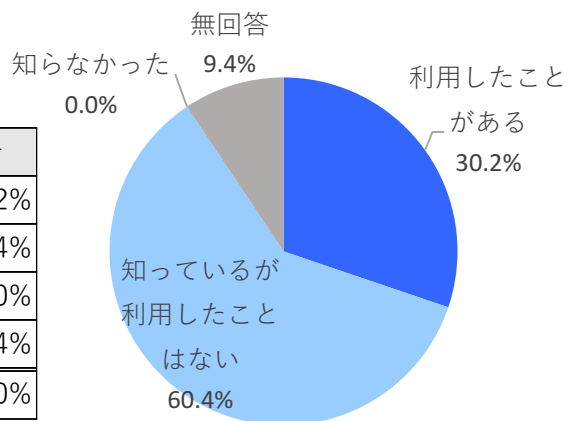


居住地区	回答数	割合
南部地区	65	67.7%
真谷地地区	31	32.3%
無回答	0	0.0%
合計	96	100.0%



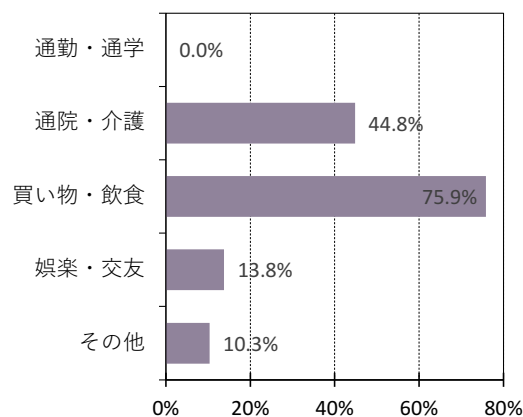
(2) デマンド交通の利用経験

利用経験	回答数	割合
利用したことがある	29	30.2%
知っているが利用したことはない	58	60.4%
知らなかった	0	0.0%
無回答	9	9.4%
合計	96	100.0%



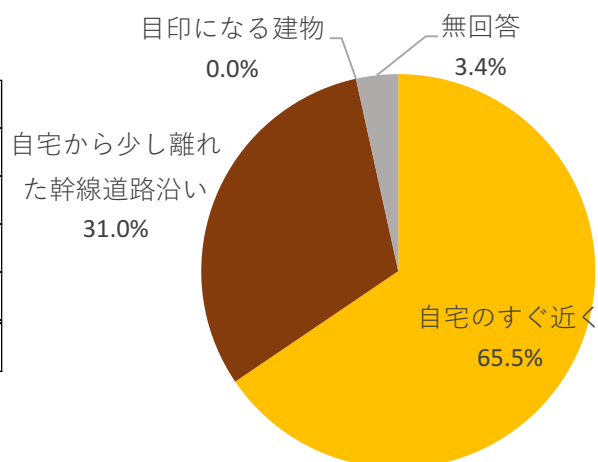
(3) デマンド交通の利用目的（複数回答可）

利用目的	回答数 (MA)	選択率 (MA)
通勤・通学	0	0.0%
通院・介護	13	44.8%
買い物・飲食	22	75.9%
娯楽・交友	4	13.8%
その他	3	10.3%
対象「利用したことがある」	29	-



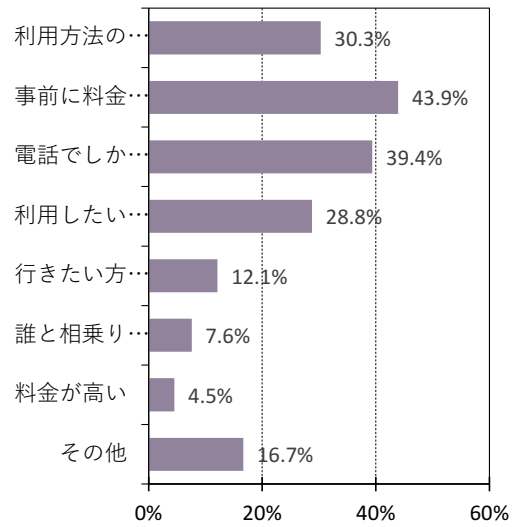
(4) 指定乗車場所

指定乗車場所	回答数	割合
自宅のすぐ近く	19	65.5%
自宅から少し離れた幹線道路沿い	9	31.0%
目印になる建物	0	0.0%
無回答	1	3.4%
対象「利用したことがある」	29	100.0%



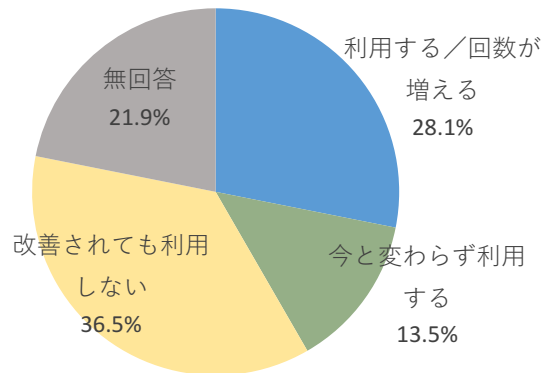
(5) デマンド交通の不満・改善すべき点

不満や改善すべき点	回答数 (MA)	選択率 (MA)
利用方法の周知	20	30.3%
事前に料金や乗降場所が分からない	29	43.9%
電話でしか申し込み受け付けない	26	39.4%
利用したい時間帯に運行していない	19	28.8%
行きたい方向へ運行していない	8	12.1%
誰と相乗りになるか分からない	5	7.6%
料金が高い	3	4.5%
その他	11	16.7%
設問の有効回答者数	66	

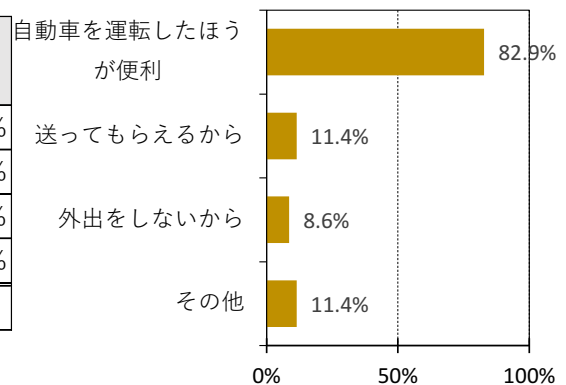


(6) 改善された場合の利用意向

利用意向	回答数	割合
利用する／回数が増える	27	28.1%
今と変わらず利用する	13	13.5%
改善されても利用しない	35	36.5%
無回答	21	21.9%
合計	96	100.0%

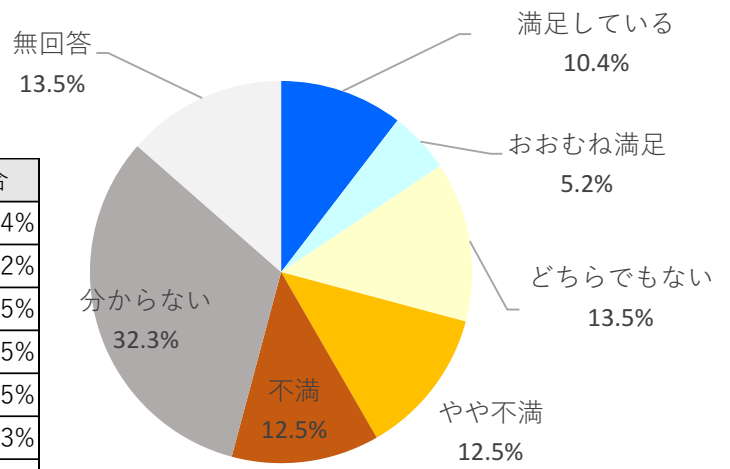


改善されても利用しない理由	回答数 (MA)	選択率 (MA)
自動車を運転したほうが便利	29	82.9%
送ってもらえるから	4	11.4%
外出をしないから	3	8.6%
その他	4	11.4%
対象「改善されても利用しない」	35	



(7) デマンド交通の満足度

デマンド交通の満足度	回答数	割合
満足している	10	10.4%
おおむね満足	5	5.2%
どちらでもない	13	13.5%
やや不満	12	12.5%
不満	12	12.5%
分からない	31	32.3%
無回答	13	13.5%
合計	96	100.0%



3-2 ハイヤー助成に対するアンケート調査

3-2-1 調査内容

ハイヤー乗車代金補助制度（以下「ハイヤー助成」）を実施している楓・登川地区と滝ノ上地区を対象に、ハイヤー助成に関するアンケート票を「市民アンケート」と併せて配布した。アンケート票は次頁のとおりである。

分類	調査項目
回答者属性	年齢・性別、居住地
ハイヤー助成の利用	認知度・利用経験、利用目的、紅葉山での乗り継ぎ
改善意見	不満や改善点、利用可能性、ハイヤー助成の評価、自由意見

タクシー乗車代金補助制度に関するアンケート

楓・登川地区と滝ノ上地区に居住する方には、タクシー乗車代金補助制度に関する調査票を追加しています。「夕張市公共交通等に関するアンケート調査 (A3 版二つ折りの調査票)」とともに、返信用封筒へ入れて送付してください。

夕張市のタクシー乗車代金補助制度とは？

地区を運行するバス路線が廃止となったことから、代わりに紅葉山までのタクシー運賃を市が補助する制度です。利用者負担は一回 300 円、残りの金額は市が負担しています。

利用対象者

- ・ 65 歳以上の方
- ・ 自動車運転免許を保有していない方
- ・ 上記以外で紅葉山までの移動が困難と認められる方

利用者登録と予約先は？

夕張第一交通 (0123-52-4141) までお電話を

利用の仕方

- ・ 利用にあたっては事前に利用者登録が必要です。
- ・ 朝 9 時から夕方 5 時半の時間帯で紅葉山までのタクシー乗車に利用できます。電話で乗車予約して下さい。
- ・ 朝のスクールバス混乗便も空きがある場合は、本人負担 200 円で利用できますが、前日夕方 5 時までの予約が必要です。



まず 利用経験について お聞きします

Q1 「タクシー乗車代金補助制度」を利用したことはありますか？

- | | | |
|---|---|-------------------|
| 1. 利用したことがある
2. 知っているが利用したことはない
3. 知らなかった | } | → 裏面の Q4 へお進みください |
|---|---|-------------------|

(利用したことがある方にお聞きします)

Q2 どのような目的(用事)で利用しましたか？(あてはまるもの全てに○)

- | | | |
|----------|------------|-----------|
| 1. 通勤や通学 | 2. 通院や介護 | 3. 買い物や飲食 |
| 4. 娯楽や交友 | 5. その他 () | |

Q3 紅葉山から乗り継ぎをしましたか？

- | |
|--------------------------|
| 1. JRに乗り継いだ/JRに乗り継ぐことが多い |
| 2. バスに乗り継いだ/バスに乗り継ぐことが多い |
| 3. 乗り継がなかった/乗り継がないことが多い |

(利用したことがある方も、無い方もお答えください)

タクシー乗車代金補助制度の改善に向けて お聞きします

Q4 タクシー乗車代金補助制度の不満や改善すべき点は？ (あてはまるもの全てに○)

- 1. 利用方法が周知されていない
- 2. 申し込みしないと利用方法の詳細が分からない
- 3. 電話でしか、予約申し込みや利用者登録を受け付けていない
- 4. 利用したい時間帯に運行していない
(希望する時間帯をご記入ください：)
- 5. 行きたい方向へ運行していない
- 6. 料金が低い
- 7. その他 ()

Q5 上記が改善されたら、ご自身は補助制度を利用しますか。(ひとつに○)

- 1. 利用するようになる / 今より利用回数が増える
- 2. 今と変わらず利用する
- 3. 改善されても利用しない ●

利用しない理由は？ (あてはまるもの全てに○)

- 1. 自分で自動車を運転したほうが便利だから
- 2. 家族や知人に送ってもらえるから
- 3. 外出をしないから
- 4. その他 ()

Q6 総合的に見て、現在のタクシー乗車代金補助制度に満足していますか。(ひとつに○)

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1. 満足している | 2. おおむね満足 | 3. どちらでもない |
| 4. やや不満 | 5. 不満 | 6. わからない |

Q7 タクシー乗車代金補助制度についてご意見をお書きください。

Q8 回答くださった方の性別、年齢、お住まいは？

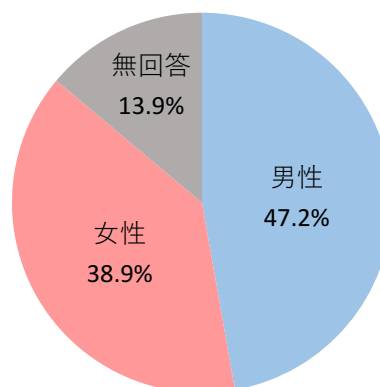
1. 男性		2. 女性	
1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代
5. 50代	6. 60～64歳	7. 65～74歳	8. 75歳以上
1. 楓・登川地区		2. 滝ノ上地区	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

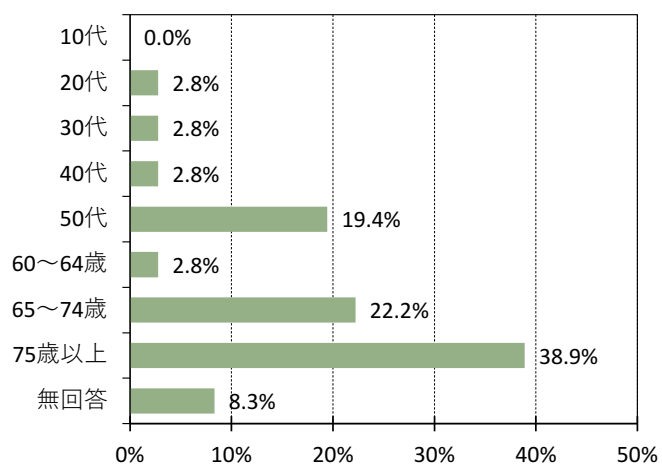
3-2-2 調査結果

(1) 性別・年齢・住所

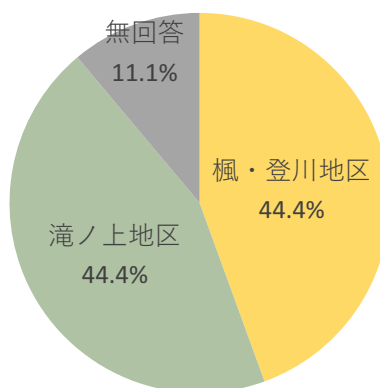
性別	回答数	割合
男性	17	47.2%
女性	14	38.9%
無回答	5	13.9%
合計	36	100.0%



年齢	回答数	割合
10代	0	0.0%
20代	1	2.8%
30代	1	2.8%
40代	1	2.8%
50代	7	19.4%
60～64歳	1	2.8%
65～74歳	8	22.2%
75歳以上	14	38.9%
無回答	3	8.3%
合計	36	100.0%

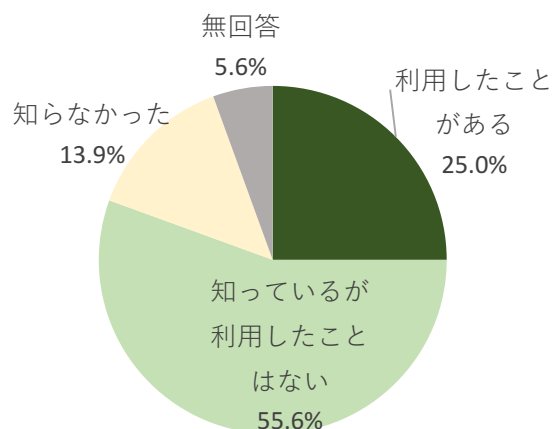


居住地区	回答数	割合
楓・登川地区	16	44.4%
滝ノ上地区	16	44.4%
無回答	4	11.1%
合計	36	100.0%



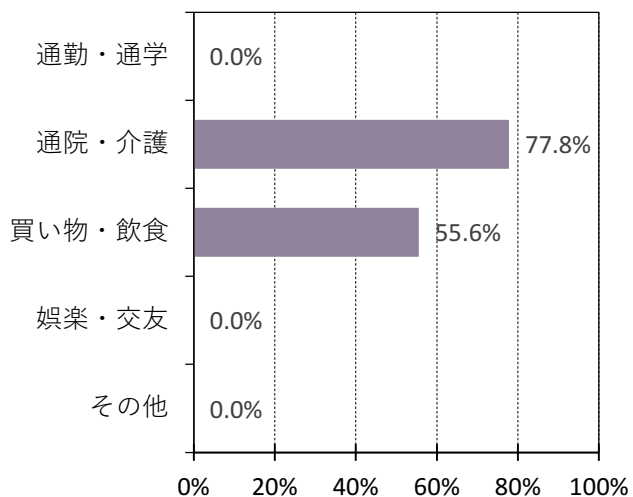
(2) タクシー乗車代金補助制度の利用経験

利用経験	回答数	割合
利用したことがある	9	25.0%
知っているが利用したことはない	20	55.6%
知らなかった	5	13.9%
無回答	2	5.6%
合計	36	100.0%



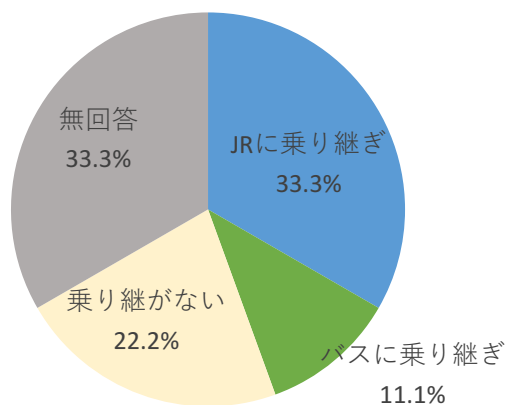
(3) 補助制度を使ったタクシーの利用目的（複数回答可）

利用目的	回答数 (MA)	選択率 (MA)
通勤・通学	0	0.0%
通院・介護	7	77.8%
買い物・飲食	5	55.6%
娯楽・交友	0	0.0%
その他	0	0.0%
対象「利用したことがある」	9	-



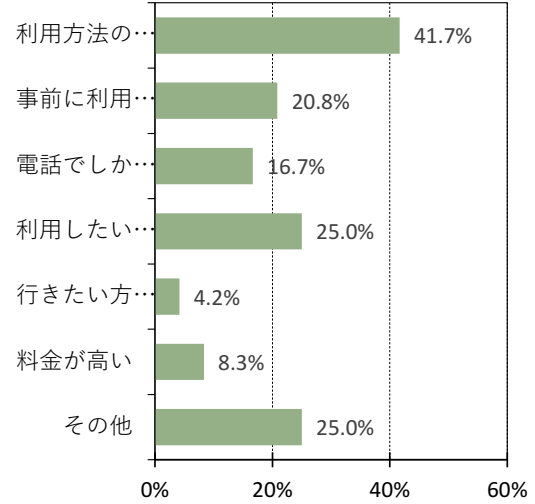
(4) 紅葉山（JR新夕張駅）からの乗り継ぎ

紅葉山からの乗り継ぎ	回答数	割合
JRに乗り継ぎ	3	33.3%
バスに乗り継ぎ	1	11.1%
乗り継がない	2	22.2%
無回答	3	33.3%
対象「利用したことがある」	9	100.0%



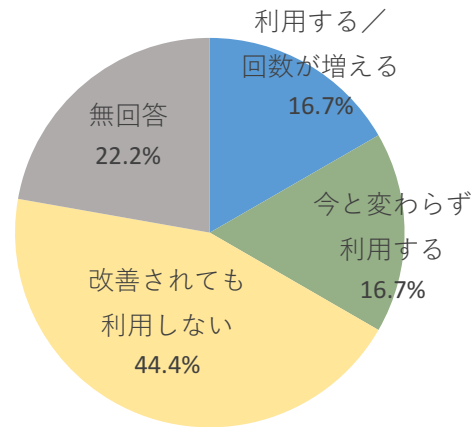
(5) タクシー代金補助制度の不満・改善すべき点

不満や改善すべき点	回答数 (MA)	選択率 (MA)
利用方法の周知	10	41.7%
事前に利用方法の詳細が分からない	5	20.8%
電話でしか申し込み受け付けない	4	16.7%
利用したい時間帯に運行していない	6	25.0%
行きたい方向へ運行していない	1	4.2%
料金が高い	2	8.3%
その他	6	25.0%
設問の有効回答者数	24	

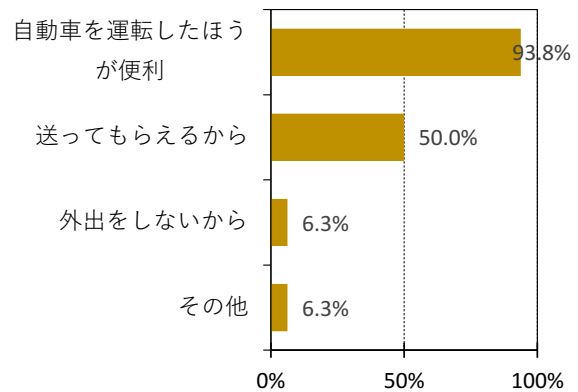


(6) 改善された場合の利用意向

利用意向	回答数	割合
利用する／回数が増える	6	16.7%
今と変わらず利用する	6	16.7%
改善されても利用しない	16	44.4%
無回答	8	22.2%
合計	36	100.0%



改善されても利用しない理由	回答数 (MA)	選択率 (MA)
自動車を運転したほうが便利	15	93.8%
送ってもらえるから	8	50.0%
外出をしないから	1	6.3%
その他	1	6.3%
対象「改善されても利用しない」	16	



(7) タクシー代金補助制度の満足度

タクシー乗車代金補助制度の満足度	回答数	割合
満足している	4	11.1%
おおむね満足	5	13.9%
どちらでもない	7	19.4%
やや不満	1	2.8%
不満	3	8.3%
分からない	14	38.9%
無回答	2	5.6%
合計	36	100.0%

